

平成 2 8 年第 1 回

島 田 市 教 育 委 員 会 定 例 会

平成 2 8 年 1 月 2 8 日

平成28年第1回島田市教育委員会定例会日程

日時：平成28年1月28日（木）午後2時30分～午後4時30分

会場：島田市立金谷公民館 会議室3（2階）

1. 開 会

2. 会期及び会議時間の決定

3. 会議録署名人の指名

4. 教育部長報告

5. 事務事業報告

- (1) 教育総務課 (2) 学校教育課 (3) 学校給食課 (4) 社会教育課
- (5) 図書館課 (6) 文化課

6. 付議事項

- (1) 教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について
- (2) 平成28年度学校教育課の方針・施策について
- (3) 島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会臨時委員の委嘱について

7. 協議事項

- (1) 島田市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について
- (2) 島田市こども未来・夢基金条例を廃止する条例について
- (3) 島田市民会館条例を廃止する条例について

8. 次回教育委員会定例会における協議事項の集約について

- (1) 事務局から提案するもの
- (2) 各委員が提案するもの

9. 報告事項

- (1) 平成27年12月分の寄附受納について
- (2) 平成27年12月分の生徒指導について
- (3) 平成28年島田市成人式の出席状況について
- (4) 島田市民会館条例施行規則を廃止する規則について
- (5) 島田市公共ホール使用料等差額助成金交付要綱の一部改正について
- (6) 第3回国際陶芸フェスティバルinささまの実施結果について
- (7) しまだ市民遺産審査委員会の結果について
- (8) 学校給食の異物混入について

10. その他

- ・会議日程について

次回 第2回島田市教育委員会定例会

日時 平成28年2月24日（水）午後2時00分～午後4時00分

会場 島田市役所金谷庁舎 第1会議室（2階）

次々回 第3回島田市教育委員会定例会

日時 平成28年3月 日（ ）午 時 分～午 時 分

会場 島田市役所金谷庁舎 第1会議室（2階）

11. 閉 会

教 育 部 長 報 告

事務事業報告

事 務 事 業 の 概 要

教育総務課

実 施（12月24日～1月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
12月24日	木	第12回教育委員会定例会	川根地区センター

予 定（1月28日～2月23日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1月28日	木	第1回教育委員会定例会	金谷公民館
2月5日	金	第4回総合教育会議	市役所

事務事業の概要

学校教育課

実施（12月24日～1月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1月5日	火	三学期始業式（第二小学校、第一中学校、第二中学校、六合中学校、北中学校、川根中学校）	金谷庁舎
1月6日	水	三学期始業式（第一小学校、第三小学校、大津小学校、伊太小学校、相賀小学校、神座小学校、六合東小学校、初倉中学校、金谷中学校）	
1月8日	金	平成27年度静岡県中学校学力診断調査 (中1、中2)	各中学校
1月9日 1月15日～ 1月20日 1月21日	土 金 水 木	サタデーオープンスクール（参加者：22人） 小中学校書写作品展 島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会 (参加者： 人)	伊久美地区 プラザおおるり 金谷庁舎
1月23日	土	サタデーオープンスクール（参加者： 人）	伊久美地区

予定（1月28日～2月23日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1月28日	木	市教育方法研（参加予定：15人）	金谷庁舎
1月29日	金	市就学支援委員会（参加予定：30人）	〃
1月30日	土	休日参観（相賀小学校）	
2月1日	月	代休（相賀小学校）	
2月4日～	木	私立高校入学検査	各校
2月5日	金		
2月6日	土	サタデーオープンスクール（参加予定：20人）	伊久美地区
〃	〃	学校祭（湯日小学校、初倉南小学校）	
2月8日	月	代休（湯日小学校、初倉南小学校）	
2月13日	土	サタデーオープンスクール（参加予定：20人）	伊久美地区
2月14日	日	休日参観（伊久美小学校）	
2月15日	月	私立高校合格発表	各校
2月16日	火	保幼小合同研修会（参加予定：30人）	金谷庁舎
2月20日	土	サタデーオープンスクール（参加予定：10人）	伊久美地区

事務事業の概要

学校給食課

実施（12月24日～1月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
12月24日	木	エコアクション21現地審査	中部学校給食センター
1月7日	〃	3学期学校給食開始	
〃	〃	物資選定会議	中部学校給食センター
1月15日	金	消費者グループ試食会（参加者：14人）	〃
1月21日	木	民間委託連絡会	南部学校給食センター
〃	〃	献立会議	中部学校給食センター
1月25日	月	学校給食週間（25日～29日） 市長、市議、教育委員等による試食会	相賀小学校、初倉中学校
1月26日	火	放射能検査	県教育センター
〃	〃	大津小保護者試食会（参加者： 人）	中部学校給食センター

予定（1月28日～2月23日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1月28日	木	民間委託連絡会	南部学校給食センター
2月4日	〃	物資選定会議	中部学校給食センター
〃	〃	県学校給食共同調理場運営協議会所長研修会	静岡県総合社会福祉会館
2月5日	金	榛原郡校長・栄養士会視察	中部学校給食センター
2月18日	木	献立会議	〃
2月19日	金	県学校給食共同調理場運営協議会中西支部 栄養士研修会	県教育センター
2月23日	火	放射能検査	〃

事務事業の概要

社会教育課

実施（12月24日～1月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1月10日	日	平成28年島田市成人式（参加者：745人）	ローズアリーナ
1月12日	火	青少年育成支援センター第5回運営委員会	市役所会議棟
1月13日	水	金谷宿大学役員会	金谷庁舎
〃	〃	初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 和菓子づくり（参加者：26人）	初倉南小学校
1月17日	日	金谷公民館演劇講座 「おばちゃん意地を張らないで」 （参加者：120人）	金谷公民館
1月19日	火	ペアレントサポーター定例会	〃
1月20日	水	第2回家庭教育学級担当者会議	〃
〃	〃	初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 選択活動（参加者：29人）	初倉南小学校
1月21日	木	第5回社会教育委員会	金谷庁舎
〃	〃	金谷宿大学発表会実行委員会	夢づくり会館
1月27日	水	初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 アルバム作り（参加者： 人）	初倉南小学校

予 定（1月28日～2月23日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1月30日	土	人が集まるチラシづくり （参加予定：20人）	金谷公民館
2月2日	火	第3回社会教育施設長連絡会	しまだ楽習センター
2月3日	水	初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 アルバム作り②（参加予定：30人）	初倉南小学校
2月6日	土	フェスタしまだ2016！合同説明会及び第4 回実行委員会（参加予定：80人）	プラザおおるり
2月8日	月	しまだ大井川あいさつの風プロジェクト （参加予定：200人）	市内小・中学校
2月10日	水	島田第四小学校家庭教育学級閉講式	第四小学校
〃	〃	初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」 閉級式（参加予定：30人）	初倉南小学校
〃	〃	第3回初倉公民館運営審議会	初倉公民館
2月13日	土	島田まるごと元気アカデミー おやこわくワーク（参加予定：親子28組）	寝装寝具みやち 他5店
2月14日	日	島田まるごと元気アカデミー シンポジウム（参加予定：70人）	しまだ楽習センター
〃	〃	島田まるごと元気アカデミー しまだWAZA塾（参加予定：30人）	カフェマンハッタン
2月15日	月	六合小家庭教育学級閉講式	六合小学校
〃	〃	生涯学習推進協議会作業部会	市役所会議棟
2月16日	火	第3回六合公民館運営審議会	六合公民館
2月17日	水	島五小・初倉南小・五和幼稚園家庭教育学 級閉講式	第五小学校 他
2月18日	木	第6回社会教育委員会	金谷公民館
2月19日	金	島三小・相賀小・神座小・五和小学校家庭教 育学級閉講式	第三小学校 他
2月20日～	土	マナビィまつり	しまだ楽習センター
2月21日	日	（展示：20日～21日、発表会：21日）	・歩歩路ホール
2月21日	〃	金谷小学校家庭教育学級閉講式	金谷小学校
2月23日	火	初倉小学校家庭教育学級閉講式	初倉小学校
〃	〃	初倉西部ふれあいセンター運営委員会	初倉西部ふれあい センター

事務事業の概要

図書館課

実施（12月24日～1月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
12月27日	日	仕事納め	島田・金谷・川根 図書館・島田分館
12月28日	月	月曜休館日	〃
12月29日～ 1月3日	火 日	年末・年始休館日	〃
1月4日	月	仕事始め	〃
〃	〃	市立図書館整理日	〃
1月5日	火	特集コーナー設置 一般：「北米・南米」 児童：「日本のこと知ってる？（お正月、 伝統行事）」	島田図書館
〃	〃	特集コーナー設置 一般：「若い人に贈る読書のすすめ」 「干支（申）、猿」 「諏訪原城と真田丸」 児童：「お正月・十二支」「節分・鬼・ 冬の絵本」	金谷図書館
〃	〃	特集コーナー設置 一般：「歴史探索」 児童：「雪あそび」	川根図書館
〃	〃	ブックスタート（参加者：30人）	保健福祉センター
〃	〃	図書館福袋	島田図書館
1月5日～ 1月19日	〃 〃	展示：筆文字アート	金谷図書館
1月7日	木	キッズブック（参加者：26人）	保健福祉センター
〃	〃	川根小学校朝読書会（参加者：29人）	川根小学校
1月12日	火	ブックスタート（参加者：28人）	保健福祉センター
1月13日	水	おはなし宅配便（参加者：54人）	ゆたか保育園
1月14日	木	キッズブック（参加者：28人）	保健福祉センター
1月17日	日	川根図書館講座 「わくわく！理科教室」（参加者：19人）	川根図書館
1月19日	火	高齢者おはなし会（参加者：13人）	ふれあい健康プラザ

月 日	曜日	事 項	場 所
1 月 20 日	水	おはなし宅配便 (参加者：96人)	六合幼稚園
1 月 21 日～ 2 月 9 日	木 火	展示：L E－C I E L フォークアート展	金谷図書館
1 月 21 日	木	川根小学校朝読書会 (参加者： 人)	川根小学校
1 月 23 日～ 1 月 24 日	土 日	本・雑誌の無料配布	川根図書館
1 月 27 日	水	市立図書館整理日	島田・金谷・川根 図書館

予 定（1月28日～2月23日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1月31日	日	新市誕生10周年記念講演会 「諏訪原城と真田丸」（参加予定：200人） 講師：加藤理文氏、萩原さちこ氏	金谷公民館
2月2日	火	特集コーナー設置 一般：「お菓子」 児童：「心も体もポッカポカ（手袋・ス ープ他）」	島田図書館
〃	〃	特集コーナー設置 一般：「バレンタインデー」「猫に関する本 」「富士山」 児童：「バレンタイン・おやつ」「冬」	金谷図書館
〃	〃	特集コーナー設置 一般：「いろいろなお菓子」 児童：「いっぱいあそぼう」	川根図書館
〃	〃	ブックスタート	保健福祉センター
2月2日～ 2月5日	〃	特別整理期間	金谷図書館
2月4日	金	キッズブック	保健福祉センター
〃	木	川根小学校朝読書会	川根小学校
2月9日	火	ブックスタート	保健福祉センター
〃	〃	島田図書館文学講座 「長者伝説が生まれ た時代はいつ？」その背景を探る 講師：八木洋行氏 （参加予定：35人）	おび・りあ多目的室
2月10日	水	川根中学校朝読書会	川根中学校
〃	〃	高齢者おはなし会	ふれあい健康プラザ
2月11日～ 3月1日	木	展示：掘り起こされた島田展	金谷図書館
2月12日～ 2月14日	火	特別整理期間	川根図書館
2月17日～ 2月23日	金	特別整理期間	島田図書館・島田 分館
2月18日	水	キッズブック	保健福祉センター
2月24日	木	市立図書館整理日	島田・金谷・川根 図書館

事務事業の概要

文化課

実施（12月24日～1月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
12月28日	月	島田高校野球部員による博物館駐車場及び川越遺跡清掃奉仕作業（参加者：25人）	川越遺跡
1月9日	土	東海道街道文化創造事業演劇創作体験参加者説明会（参加者：34人）	藤枝市役所
1月10日	日	学芸員によるギャラリートーク（参加者：15人）	博物館
〃	〃	しまはくワークショップ「タイル×アート」（参加者：19人）	〃
1月15日	金	市史古文書悉皆解読調査	博物館別棟
1月16日	土	東海道街道文化創造事業演劇鑑賞会&バックステージツアー（参加者：26人）	静岡芸術劇場
〃	〃	第9回古文書講座（参加者：20人） 講師：中野敬一氏（島田市史編さん事務局）	博物館
1月17日	日	しまはくワークショップ「タイル×アート」（参加者：16人）	〃
1月20日	水	市史古文書悉皆解読調査	博物館別棟
1月22日	金	しまだ市民遺産審査委員現地視察	
1月23日	土	学芸員によるギャラリートーク（参加者： 人）	博物館分館
1月23日～ 3月27日	土 日	収蔵品展 「古文書 読めない、わからない、でも面白い！」	博物館
1月24日	〃	おもちゃ病院（参加者： 人）	〃
〃	〃	文化財防火訓練	川会所
1月27日	水	第2回しまだ市民遺産審査委員会	市役所会議棟

予 定（1月28日～2月23日）

月 日	曜日	事 項	場 所
1 月 29 日	金	第 9 回市史編さん委員会調査研究会	博物館
1 月 30 日	土	ゴズペルワークショップ	プラザおおるり
1 月 31 日	日	米村でんじろうサイエンスショー	川根文化センター
2 月 4 日	木	ゴズペルワークショップ	プラザおおるり
2 月 5 日	金	博物館協議会視察研修	富士市立博物館
2 月 6 日	土	記念講演「古文書のはなし」 講師：中野敬一（島田市史編さん事務局）	博物館
2 月 7 日	日	東海道街道文化創造事業演劇リーディング・カフェ	藤枝市
〃	〃	デビッド・マシューズ音楽教室	川根文化センター
〃	〃	平成 27 年度諏訪原城講演会 丸馬出を持つ城 ―諏訪原城を中心に― 講師：中井 均氏（諏訪原城跡整備委員）	金谷公民館
2 月 12 日	金	ゴズペルワークショップ	プラザおおるり
2 月 14 日	日	しまはくワークショップ 「古文書×アート」	博物館
2 月 19 日	金	ゴズペルワークショップ	プラザおおるり
2 月 20 日	土	古文書修理ワークショップ 講師：NPO 法人 NPO 文化財を守る会	博物館
〃	〃	第 10 回古文書講座 講師：中野敬一（島田市史編さん事務局）	〃
2 月 21 日	日	東海道街道文化創造事業演劇ワークショップ	藤枝市役所
〃	〃	しまはくワークショップ 「古文書×アート」	博物館
2 月 22 日	月	第 2 回諏訪原城跡整備委員会	金谷庁舎
2 月 23 日	火	* 博物館無料開放日・富士山の日協力事業 ワークショップ「古文書×アート」	博物館・分館

島田市教育委員会定例会議案

議案第 1 号

教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項に規定する報告書を別冊のとおり定める。

平成28年 1 月 28日 提出

島田市教育委員会教育長 濱 田 和 彦

議案第 2 号

平成28年度学校教育課の方針・施策について

平成28年度学校教育課の方針・施策を次のとおり定める。

平成28年 1 月28日提出

島田市教育委員会教育長 濱 田 和 彦

平成28年度 学校教育課 方針・施策

1 基本方針

各学校が小・中の連携の下、「個に焦点を当てた教育」と「地域や保護者から信頼される学校づくり」を通して、「豊かな心、確かな学力、健康な体」を身につけた子供の育成をめざします。

2 基本施策

(1) 「豊かな心」の育成に向けた施策

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、日常の学校生活の全ての教育活動において根気強く努力する経験、困難に立ち向かう場を大切にします。「豊かな心を育てる」ことを重点とし、「思いやりの心」「感動する心」「強い心」をもった子供を育成します。

ア 「人に役立つ行動」のできる力や、人やものを思いやる心を育て、子供たちの自己肯定感を高めていきます。また、子供の頑張りや向上的変容を見出し、価値付けていきます。

○人に役立った活動やありがとうと言われた体験をまとめた「ありがとう体験記」作文の募集

○青少年赤十字（J R C）活動の位置づけ

イ 情緒を味わい、立ち居振る舞いや礼儀作法を学ぶ「和文化教育」を進め、態度やマナー、頑張りぬく力をもった子供を育てます。また、地域愛を育みます。

○和文化教育推進委員会を中心とした「和文化教育」の推進

- ・地域や和文化のよさにふれる活動の位置づけ
- ・和文化教育教材集の活用
- ・礼儀の基本「挨拶・返事・きれいな言葉遣い」の日常化
- ・和文化教育の研究推奨（研究指定校 大津小学校）
- ・一校一和文活動の推進

ウ 文化体験、自然体験、福祉体験、スポーツ体験等の様々な体験活動をとおり、コミュニケーション力を高め、がんばった経験を積み重ね、やればできるという自信を実感させる教育を進めます。喜びを共有する機会を増やし、「感動する心」、「認め合う心」、「強い心」をもった子供を育てます。

○子供の夢や地域愛を育む教育活動を推進するための「^{ゆめいく}夢育・^{ちいく}地育推進事業」の実施

○自立した大人になるための資質や適切な進路選択をする力を育むキャリア教育の充実

○豊かな自然の中での体験活動の提供

- ・伊久美小学校を拠点とした「サタデーオープンスクール」「サマーオー

プンスクール」の実施（指導員 2 人配置）

・伊久美小学校への移動教室の実施（市内 4 校）

○劇団四季「こころの劇場」公演の実施（市内全小学校 5 年生対象）

○小学校陸上記録会・音楽発表会、中学校音楽交流会への支援

エ 道德教育の充実

○文科省の研究指定を六合中学校区（六合中・六合小・六合東小）で推進（平成28年・29年度の2年間）

・静西教育事務所と連携し、研究支援

・市内への研究成果の発信

オ 教師と児童生徒との信頼関係を醸成する中で、個にきめ細かく対応する生徒指導の充実を図ります。

○いじめにつながる事案の認知力向上と迅速な対応

・いじめ問題対策連絡協議会の開催

○小中連携による生徒指導体制充実のために生徒指導主事・主任研修会の実施

○不登校児童生徒（保健室登校等）及び悩みや不安を抱える子供への支援並びに、生徒指導上問題のある児童生徒への指導・支援及び教育環境づくりを行う学校教育支援員の配置

○学校教育支援員の指導力向上をめざす学校教育支援員研修会の実施

カ 教育センターの機能の充実を図ります。

○悩みをもつ保護者・子供・教職員のための教育相談員の配置

○不登校の子供の学校復帰を目指す適応指導教室「チャレンジ教室」指導員の配置

○発達障害のある子供及びその保護者への支援のための特別支援教育士の配置

○学校関係・専門機関・家庭を結んだ子供や保護者の支援を行う「スクールソーシャルワーカー」の配置と拡充

○不登校児童生徒の保護者の会「わかあゆの会」の実施（年 4 回）

キ 「島田市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校や家庭における読書習慣の確立と読書活動を推進し、豊かな心を育てます。

学習に対する興味・関心等と呼び起こし、主体的・意欲的に学習活動に取り組む子供を育てます。

○学校図書館の読書センターとしての機能や学習・情報センターとしての機能充実

・学校図書館の活用及び読書活動の充実を図るための「司書教諭・学校図書館担当者研修会」の実施

・市立図書館との連携による「学校図書館支援事業」の実施

・学校図書館における読書活動や学習活動への支援にあたる学校図書館支援員の配置

○「島田市子ども読書100選」の活用

(2) 「確かな学力」の育成に向けた施策

ア 「個に焦点を当てた授業」を推進することにより、子供の学習意欲の向上及び学び方や基礎・基本の確実な習得を図り、表現力、思考力、判断力を伸ばします。

また、小集団学習などの方法を取り入れ、考えを深め、全員が参加する活動の実践をめざします。

○「小中連携による個に焦点を当てた授業」研究指定校の設置及び研究発表会の実施（指定校：北中・伊太小・相賀小・神座小・伊久美小）

○教育方法研究委員会による「個に焦点を当てた授業」の研究推進・研修主任、教科等指導員、研究指定校との連携による研究成果の共有

○各学校への「個に焦点を当てた授業」への支援

・静西教育事務所地域支援課指導主事、市教委指導主事との合同訪問

・教科等指導員研修会の実施（教科等指導リーダー、静岡大学附属島田中学校研究協力等）

イ 個に焦点を当てた学習指導の充実を図ります。

○学力向上委員会の設置

・全国学力・学習状況調査の分析と授業改善への提言

○基礎学力の向上を図るために児童生徒への支援を行う学校教育支援員の配置

○外国籍児童生徒への日本語指導・学習指導を行う「外国人児童生徒指導員」の配置

○家庭学習の定着と新聞活用

ウ 「特別支援教育」の充実を図ります。

○教育のユニバーサルデザイン化の推進

○各学校における困り感をもった児童生徒を支援する学校教育支援員の配置

○特別支援教育の理解を図り、学校内や関係機関との連携・連絡調整を行うための特別支援教育コーディネーター研修会（特別支援教育研修会）の実施

○各学校への巡回相談を行う「臨床発達心理士派遣事業」の実施

○大学教授及び臨床発達心理士等による「特別支援教育専門家会議」の実施

○島田第一小学校の「通級指導教室」の拡充と個別指導の充実

・今後の通級指導教室のあり方の検討

○教育センターと連携し、児童生徒や保護者への教育支援活動

エ 小学校外国語活動及び中学校英語教育の充実を図ります。

○外国語活動を通じて、コミュニケーション能力の素地を身につけた子供の育成と、教職員の指導力向上をめざした「小学校外国語活動支援事業」

の実施

- ・外国語活動担当者研修会の実施
- ・外国語活動支援員の配置

○中学校における英語教育の充実をめざした「国際理解教育推進事業」の実施

- ・A L T（民間委託）による学校巡回指導

オ ICTを活用した授業を推進し、学び方や学習意欲の向上を図るとともに、情報モラルを身につけた子供を育てます。

○校務支援システム導入と活用状況の把握

○情報教育推進委員会によるICT活用の推進

- ・公用パソコン、電子黒板、大型液晶テレビの活用
- ・モデル校を設置し、タブレット等による指導方法研究
- ・パソコン室の積極的な活用
- ・情報モラル教育の指導計画作成と指導
- ・「島田市教職員情報安全対策基準」による情報管理とその見直し

カ 放射線教育を行い、放射線に対する正しい理解を図ります。

○小学校高学年及び中学校の理科学習において、放射線教育を実施

○放射線教育充実のための学習会を開催

(3) 「健康な体」の育成に向けた施策

ア 各学校において、体育の授業、外遊びなどに工夫と改善を加え、子供の体力向上を図ります。

○児童生徒の体位・体力の把握（新体力テストの実施）と授業改善

○中体連活動への支援

○中学校部活動充実のための「部活動指導者派遣事業」の実施

○中学校保健体育における安全指導の充実

イ 保健学習の充実と関係機関との連携により、子供の健康の自己管理能力を育てます。

○性教育、薬学講座の実施

○学校保健会、医師会との連携による健康診断や各種検査の実施

○学校保健研修会の実施

ウ 「島田市食育推進計画」に基づき、食育指導の推進を図り、食に関する知識や食への感謝の心をもち、望ましい食習慣を身につけた子供を育てます。

○食育年間指導計画に沿った実践の把握

- ・食育の指導目標や指導内容について共通理解を図る食育推進委員会・食育担当者会の実施
- ・各学校において、給食を残さない運動「食べ切りメニュー」「がんばりメニュー」等の実施

○学校での食育指導への栄養教諭・栄養士の派遣

(4) 信頼される学校づくりに向けた施策

ア 安全で安心な学校生活を送ることをめざし、いじめ防止を始め、防災教育や防災管理、防災に関する組織など学校安全の強化を図ります。

○いじめのない学校づくりの推進

- ・定期的な調査
- ・いじめを認知し、迅速な対応
- ・外部機関との連携

○学校における防災教育の推進

- ・防災に対して主体的な姿勢を醸成する防災教育・防災訓練の実施
- ・D I Gの実施
- ・学校防災計画の改善
- ・学校防災推進委員会の実施

○地域と連携した防災体制の強化

イ 安全点検の徹底を図るとともに、危機管理マニュアルを見直し、学校事故の防止に努めます。

○学校における月1回の安全点検の実施

○学校における薬品管理（理科・保健）の徹底と管理簿の作成

○救急救命法の講習会（A E Dの活用・食物アレルギーへの対応）の実施

ウ P T Aや地域と連携した防犯体制の充実に努めます。

○市内各小・中学校、高等学校、園への不審者情報の発信

○「子どもをまもる110番の家」の活用

エ 開かれた学校をめざし、情報の発信に努めるとともに、適正な情報管理・使用を進めます。

○ホームページを中心とした日常的な教育活動の発信

○情報管理研修会での公用パソコンや個人情報の適正な管理・使用の推進

オ 教職員の資質・能力の向上を図り、「頼もしい教職員」の育成に努めます。

○教職員の育成のための研修会の実施

- ・初任者研修会、2年次研修会、3年次研修会、10年経験者研修会
- ・5年未満教員研修の実施(各教科等指導員と市教委指導主事による計画的な訪問指導)

○企画・運営力を育成する研修会の実施

- ・主幹教諭及び教務主任研修会、研修主任研修会

○新たな教育課題に対応するための研修会や職種に対応した研修会の実施

- ・道徳教育担当者研修会 ・特別支援教育研修会
- ・事務職員研修会 ・学校保健研修会
- ・食育担当者研修会 ・司書教諭・学校図書館担当者研修会

○市内各幼稚園・保育園・こども園との連携

- ・就学支援のための幼稚園・保育園・こども園への就学支援委員や市教委指導主事の訪問
- ・異校種間連携を推進するための幼稚園・保育園・小学校合同研修会の実施

- 信用失墜行為の根絶に向けた意図的・計画的な指導の徹底
 - ・校長会・教頭会における不祥事根絶研修の実施
- 教員の教育研究に対する称揚
 - ・教育研究論文の募集・論文発表会の開催
- カ 小規模特認校制度（伊久美小学校）の活用と啓発に努めます。
- 小規模特認校制度の趣旨と成果を広報する説明会の実施
- キ 「島田市立小学校及び中学校のあり方検討委員会」を継続開催し、学校教育の方向性を検討します。（平成28年度中に教育委員会へ諮問）

議案第 3 号

島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会臨時委員の委嘱について

島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会規則（平成27年島田市教育委員会規則第7号）第3条第2項、第4条及び5条第3項の規定により、島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会臨時委員を次のとおり委嘱する。

平成28年 1 月28日提出

島田市教育委員会教育長 濱 田 和 彦

- 1 委嘱年月日 平成28年 2 月 1 日
- 2 任 期 平成28年 2 月 1 日から島田宿大井川川越遺跡整備基本構想の策定が終了する日まで
- 3 委嘱する者の氏名等

	氏 名	住 所	摘 要
1	きたがわ まさゆき 北川 雅之	島田市中心中央町	市の職員 (島田市産業観光部長)
2	やすはら まさあき 安原 正明	島田市中心中央町	市の職員 (島田市都市基盤部長)

- 4 選 任 事 由 島田宿大井川川越遺跡整備基本構想の協議検討するため、新たに臨時委員を委嘱する。

協 議 事 項

島田市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について

島田市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例について、市議会2月定例会に提案するので、次のとおり協議します。

島田市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例

目次

第1章 総則（第1条）

第2章 島田市いじめ問題対策連絡協議会（第2条―第10条）

第3章 島田市いじめ問題対策専門委員会（第11条―第15条）

第4章 島田市いじめ問題調査委員会（第16条―第19条）

附則

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この条例は、いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号。以下「法」という。）の規定に基づき設置する組織に関し必要な事項を定めるものとする。

第2章 島田市いじめ問題対策連絡協議会

（設置）

第2条 法第14条第1項の規定に基づき、教育委員会に島田市いじめ問題対策連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第3条 連絡協議会は、次に掲げる事務を所掌する。

（1）いじめの防止等に関係する機関及び団体の連絡調整を図ること。

（2）いじめの防止等のための対策に関する情報を交換すること。

（3）前2号に掲げるもののほか、いじめの防止等に係る連携のために教育委員会が必要と認める事務

（組織）

第4条 連絡協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

（1）関係行政機関の職員

（2）児童又は生徒の保護者

（3）市の職員

（4）前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

（任期）

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は再任されることができる。

(秘密を守る義務)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(会長及び副会長)

第7条 連絡協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、連絡協議会を代表する。

4 会長は、連絡協議会の会議の議長となる。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第8条 連絡協議会の会議は、会長が招集する。

2 連絡協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(庶務)

第9条 連絡協議会の庶務は、教育委員会の事務局において処理する。

(委任)

第10条 この章に定めるもののほか、連絡協議会の運営に関し必要な事項は、会長が連絡協議会に諮って定める。

第3章 島田市いじめ問題対策専門委員会

(設置)

第11条 法第14条第3項の規定に基づき、教育委員会に島田市いじめ問題対策専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第12条 専門委員会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査等を行う。

(1) いじめの防止等のための対策に係る調査研究等

(2) 法第28条第1項に規定する重大事態に係る事実関係を明確にするための調査

(組織)

第13条 専門委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、教育、法律、医療、心理、福祉等に関する専門的な知識及び経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(会議)

第14条 専門委員会の会議は、委員長が招集する。

2 専門委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 専門委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 専門委員会は、必要があると認めるときは、専門委員会の会議に関係者の出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出その他の必要な協力を求めることができる。

(準用)

第15条 第5条から第7条まで、第9条及び第10条の規定は、専門委員会に準用する。
この場合において、第7条中「会長」とあるのは「委員長」と、「副会長」とあるのは「副委員長」と、第10条中「会長」とあるのは「委員長」と読み替えるものとする。

第4章 島田市いじめ問題調査委員会

(設置)

第16条 市長は、法第30条第2項の規定による調査を行う必要があると認めるときは、島田市いじめ問題調査委員会（以下「調査委員会」という。）を設けるものとする。

(組織)

第17条 調査委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、教育、法律、医療、心理、福祉等に関する専門的な知識及び経験を有する者で当該事案の関係者と直接の利害関係を有しないもののうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第18条 委員の任期は、委嘱の日から当該事案の調査が終了する日までとする。

(準用)

第19条 第6条、第7条、第9条、第10条及び第14条の規定は、調査委員会に準用する。この場合において、第7条中「会長」とあるのは「委員長」と、「副会長」とあるのは「副委員長」と、第9条中「教育委員会の事務局」とあるのは「地域生活部」と、第10条中「会長」とあるのは「委員長」と読み替えるものとする。

附 則

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

島田市こども未来・夢基金条例を廃止する条例について

島田市こども未来・夢基金条例を廃止する条例について、市議会 2 月定例会に提案するので、次のとおり協議します。

島田市こども未来・夢基金条例を廃止する条例

島田市こども未来・夢基金条例（平成17年島田市条例第192号）は、廃止する。

附 則

この条例は、平成28年 4 月 1 日から施行する。

島田市民会館条例を廃止する条例について

島田市民会館条例を廃止する条例について、市議会 2 月定例会に提案するので、次のとおり協議します。

島田市民会館条例を廃止する条例

島田市民会館条例（平成17年島田市条例第106号）は、廃止する。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成28年 4 月 1 日から施行する。
（議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例の一部改正）
- 2 議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例（平成17年島田市条例第58号）の一部を次のように改正する。
第 2 条中第 5 号を削り、第 6 号を第 5 号とし、第 7 号を第 6 号とする。

新 旧 条 文

例規名 島田市民会館条例

新 条 文	旧 条 文
○附則第2項関係（議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例） （議会の議決を経るべき公の施設） 第2条 公の施設のうち、10年を超える期間にわたり、かつ、独占的に利用させようとするとき、議会において出席議員の過半数の議決を経なければならないものは、次のとおりとする。 (1) 〃 省略 (4) 〃 省略 (5) 省略 (6) 省略	

対 照 表

旧 条 文	新 条 文
○附則第2項関係（議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例） （議会の議決を経るべき公の施設） 第2条 公の施設のうち、10年を超える期間にわたり、かつ、独占的に利用させようとするとき、議会において出席議員の過半数の議決を経なければならないものは、次のとおりとする。 (1) 〃 省略 (4) 〃 省略 (5) 市民会館 (6) 省略 (7) 省略	

次回教育委員会定例会における 協議事項の集約

報 告 事 項

平成 27 年 12 月分の寄附受納について

寄附受納したので、次のとおり報告します。

< 物品 >

受入先	品 名	数量	金 額	寄 附 者
初倉小学校	カラーコピー機 (拡大コピー＋付属 機器)	1 セット	313,200円	(一社)谷田川報徳社 (榛葉正信 理事長)
計			313,200円	

平成 27 年 12 月分の生徒指導について

平成 27 年 12 月分の生徒指導について、別紙のとおり報告します。

平成28年島田市成人式の出席状況について

平成28年島田市成人式の出席状況について、次のとおり報告します。

(単位：人)

	平成28年			
	性別	出席者数	対象者数	出席率
島田市全体	男	387	534	72.5%
	女	358	481	74.4%
	合 計	745	1,015	73.4%
第一中学校区	男	77	109	70.64%
	女	64	83	77.10%
	合 計	141	192	73.43%
第二中学校区	男	89	128	69.53%
	女	96	138	69.56%
	合 計	185	266	69.54%
六合中学校区	男	62	82	75.60%
	女	62	80	77.50%
	合 計	124	162	76.54%
北 中学校区	男	17	24	70.83%
	女	17	26	65.38%
	合 計	34	50	68.00%
初倉中学校区	男	45	60	75.00%
	女	28	46	60.86%
	合 計	73	106	68.86%
金谷中学校区	男	63	100	63.00%
	女	66	85	77.64%
	合 計	129	185	69.72%
川根中学校区	男	20	31	64.51%
	女	16	23	69.56%
	合 計	36	54	66.66%
附属中・私立中	男	14	—	
	女	9	—	
	合 計	23	—	

【参考】 平成27年島田市成人式状況

(単位：人)

島田市全体	合 計	出席者数	対象者数	出席率
		816	1,082	75.4%

島田市民会館条例施行規則を廃止する規則について

島田市民会館条例施行規則を廃止する規則について、次のとおり報告します。

島田市規則第 号

島田市民会館条例施行規則を廃止する規則をここに制定する。

平成 年 月 日

島田市長 染谷 絹代

島田市民会館条例施行規則を廃止する規則

島田市民会館条例施行規則（平成17年島田市規則第163号）は、廃止する。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（島田市文化施設運営協議会規則の一部改正）

2 島田市文化施設運営協議会規則（平成17年島田市規則第95号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、島田市民会館条例（平成17年島田市条例第106号）に基づく島田市民会館」を削る。

第2条第1号中「、市民会館」を削る。

（島田市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例施行規則の一部改正）

3 島田市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例施行規則（平成17年島田市規則第119号）の一部を次のように改正する。

別表第2条例第10条第2項第1号に掲げる受益者の項中「、市民会館」を削る。

（市長の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部改正）

4 市長の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則（平成24年島田市規則第3号）の一部を次のように改正する。

第4条第2項第5号中アを削り、イをアとし、ウからコまでをイからケまでとする。

（島田市公共下水道事業区域外流入分担金徴収条例施行規則の一部改正）

5 島田市公共下水道事業区域外流入分担金徴収条例施行規則（平成24年島田市規則第16号）の一部を次のように改正する。

別表第2の1の項中「、市民会館」を削る。

新 糸 文

文 条 目

省略

省略

- (4) (5) 次に掲げる公の施設の管理にすること。

ア 島田市民会館条例（平成17年島田市条例第106号）第2条に規定する島田市

民會館

 $\leq$

～ 省略

П

(9) —

省路

(13)

島田市公共ホール使用料等差額助成金交付要綱の一部改正について

島田市公共ホール使用料等差額助成金交付要綱の一部改正について、次のとおり報告します。

島田市告示第 号

島田市公共ホール使用料等差額助成金交付要綱（平成26年島田市告示第197号）の一部を次のように改正する。

平成 年 月 日

島田市長 染谷 絹代

第1条中「島田市民会館」を「旧島田市民会館条例（平成17年島田市条例第106号）第2条に規定する島田市民会館」に、「の休館による代替施設として」を「が廃止されたことにより」に、「利用する」を「利用したとした場合」に改める。

第2条第2項第2号から第4号までを次のように改める。

(2) 島田市民総合施設条例（平成17年島田市条例第107号）第2条に規定する島田市民総合施設プラザおおるり

(3) 島田市金谷生きがいセンター条例（平成17年島田市条例第108号）第2条に規定する島田市金谷生きがいセンター

(4) 島田市川根文化センター条例（平成20年島田市条例第23号）第2条に規定する島田市川根文化センターチャリム21

第3条中「利用した」を「利用したとした」に改める。

附 則

この告示は、平成28年4月1日から施行する。

例規名 島田市公共ホール使用料等差額助成金交付要綱

新 規	旧 条 文
(趣旨) 第1条 市長は、文化の発展及び市民生活の向上を図るため、<u>旧島田市民会館条例</u>（平成17年島田市条例第106号）第2条に規定する<u>島田市民会館</u>（以下「市民会館」という。）が廃止されたことにより第2条第2項各号に掲げる施設（以下「公共ホール」という。）の使用又は利用（以下「使用等」という。）をし、市民会館を利用したとした場合よりも高額となる使用料又は利用料（以下「使用料等」という。）を負担する団体に対し、予算の範囲内において助成金を交付するものとし、その交付に関しては、<u>島田市補助金等交付規則</u>（平成17年島田市規則第36号。以下「規則」という。）及びこの要綱の定めるところによる。 (助成対象団体等) 第2条 省 略 2 助成の対象となる施設は、次の各号のいずれかに該当するものうち、当該施設の使用等の目的と前項の公演等を行った目的とが同様であるものであって、当該施設の使用等について市長がやむを得ない事情があると認めるものとする。ただし、第2号から第4号までに掲げる施設にあっては、2日間以上の公演等を行う場合に限る。 (1) 省 略 (2) <u>島田市民総合施設条例</u>（平成17年島田市条例第107号）第2条に規定する<u>島田市民総合施設プラザ</u>における (3) <u>島田市金谷生きがいセンター</u>（平成17年島田市条例第108号）第2条に規定する<u>島田市金谷生きがいセンター</u> (4) <u>島田市川根文化センター</u>（平成20年島田市条例第23号）第2条に規定する<u>島田市川根文化センターチャリム21</u> (助成金の額) 第3条 助成金の額は、公共ホールの使用料等の額（備品等の附属設備及び冷暖房に係る使用料等を含む。）から当該公共ホールの使用等の状況を勘案して市民会館を利用したとした場合における利用料に換算した額に相当する額を差し引いた額（その額に1,000円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とし、50万円を限度とする。	

旧 条 文
(趣旨) 第1条 市長は、文化の発展及び市民生活の向上を図るため、<u>島田市民会館</u>（以下「市民会館」という。）の休館による代替施設として第2条第2項各号に掲げる施設（以下「公共ホール」という。）の使用又は利用（以下「使用等」という。）をし、市民会館を利用するよりも高額となる使用料又は利用料（以下「使用料等」という。）を負担する団体に対し、予算の範囲内において助成金を交付するものとし、その交付に関しては、<u>島田市補助金等交付規則</u>（平成17年島田市規則第36号。以下「規則」という。）及びこの要綱の定めるところによる。 (助成対象団体等) 第2条 省 略 2 助成の対象となる施設は、次の各号のいずれかに該当するものうち、当該施設の使用等の目的と前項の公演等を行った目的とが同様であるものであって、当該施設の使用等について市長がやむを得ない事情があると認めるものとする。ただし、第2号から第4号までに掲げる施設にあっては、2日間以上の公演等を行う場合に限る。 (1) 省 略 (2) <u>島田市民総合施設プラザ</u>における (3) <u>島田市金谷生きがいセンター</u> (4) <u>島田市川根文化センターチャリム21</u> (助成金の額) 第3条 助成金の額は、公共ホールの使用料等の額（備品等の附属設備及び冷暖房に係る使用料等を含む。）から当該公共ホールの使用等の状況を勘案して市民会館を利用したした場合における利用料に換算した額に相当する額を差し引いた額（その額に1,000円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とし、50万円を限度とする。

第3回国際陶芸フェスティバルinささまの実施結果について

第3回国際陶芸フェスティバルinささまの開催に伴いまして実施しましたアンケート結果及び決算について、次のとおり報告します。

1 実施結果（概要）について（詳細添付資料のとおり）

2 決算について（詳細添付資料のとおり）

3 アンケート調査について（詳細添付資料のとおり）

目 的 今後、国際陶芸フェスティバルをはじめとした笹間地域の地域おこしの方向性を構築する検討材料とするため、「第3回国際陶芸フェスティバル」の一般来場者及び出展した国内作家、地元関係者に対してアンケート調査を実施した。

調査対象者 「第3回国際陶芸フェスティバル」の一般来場者・出展国内作家・地元関係者等

調 査 概 要 来場者、出展国内作家、地元関係者用の調査票を作成し、手渡しで配布回収した。

●回収数	一般来場者	98 人
	出展国内作家	27 人
	地元関係者	46 人
	合 計	171 人

第3回国際陶芸フェスティバル in ささま 実施結果（概要）

- 1 開催日 2015年11月20日（金）～22日（日）
- 2 開催場所 山村都市交流センターささま・川根文化センターチャリム 21 他
- 3 参加者 招待陶芸作家 7カ国9人（クラウドニア 11/2 入り作品づくり）
国内陶芸作家 1都2府15県から51人3組
国外陶芸作家 8カ国16人
（マルテロチェロ 11/1 入りレジデンスづくり）
一般参加者 約4,500人

4 日程

(1) 11月20日（金）

○オープニングイベント 川根文化センターチャリム 21

- ・招待作家紹介
- ・川根小学校児童「おはやし」、歓迎の言葉
- ・赤石太鼓
- ・大茶会

（来賓：市長、教育長、教育部長、市議会議員、県文化観光部部長代理、県中部地域政策局長、県志太榛原農林事務所長 他）

○前夜祭 山村都市交流センターささま

- ・笹間神楽
- ・交流会（バイキング）

（来賓：市長、教育長 他）

(2) 11月21日（土）・22日（日）

- | | |
|-----------------------|------------|
| ・招待陶芸作家作品展示、販売 | 入屋宅 |
| ・国内陶芸作家作品展示、販売 | 山村都市交流センター |
| ・国内陶芸作家作品展示 | 旧笹間中学校 |
| ・一般海外陶芸作家作品展示、販売 | 石上公民館 |
| ・招待陶芸作家ワークショップ | 山村都市交流センター |
| ・招待陶芸作家スライドレクチャー | 〃 |
| ・楽焼体験、絵付け体験、木工体験 | 〃 |
| ・フードコート | 〃 |
| ・村の市、物産販売 | 石上公民館 |
| ・茶工場茶会（小堀遠州流 小堀茉莉由子氏） | 中央製茶工場 |
| ・ささま茶会（茶道裏千家淡交会静岡支部） | 中村宅 |
| ・ふるさとハイキング | 日掛地区 |

（来賓：副知事、市長 他）

- 5 交通手段 シャトルバスの運行（川根温泉笹間渡駅、桑の山臨時駐車場）
- 6 駐車場 旧笹間中学校、農村公園、桑の山臨時駐車場 等
- 7 主催 第3回国際陶芸フェスティバル in ささま実行委員会

- 8 後 援 静岡県、島田市、島田市教育委員会、公益社団法人 静岡県観光協会、島田市観光協会、川根本町まちづくり観光協会、静岡県中小企業団体中央会、大井川農業協同組合、朝日新聞社静岡総局、産経新聞社静岡支局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞社東海本社、日本経済新聞社静岡支局、毎日新聞社静岡支局、読売新聞社静岡支局、共同通信社静岡支局、時事通信社静岡総局、NHK静岡放送局、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、K-mix、FM島田
- 9 協 賛 桜井資源(株)、(株)奥大井観光ホテル翠紅苑、森づくり S 川根 NPO、(株)丸紅、大井川農業協同組合、ナカダ産業(株)、(株)川根町温泉、大井建設(株)、(株)ナカヤ、茂川利郎、森川伸造、企業組合くれば
- 10 協 力 島田市茶業振興会川根支部、大井川鐵道(株)、NPO まちづくり川根の会、(一社)茶道裏千家淡交会静岡支部、UCK, 笹間自治会、笹間神楽保存会、赤石太鼓保存会、島田市消防団 16-3、ボランティアのみなさま

収支決算書

収 入 額	6,080,900円
支 出 額	6,077,428円
差引残額	3,472円

1 収入の部

区分	決算額	備考
補助金	3,000,000円	市補助金
参加費等	1,277,200円	セレクション作家・ワークショップ参加費他
協賛金等	741,500円	協賛金・里山協力金
食事代等	645,000円	
出店料等	235,700円	出店料・体験料
グッズ等売上	181,500円	
計	6,080,900円	

2 支出の部

区分	決算額	備考
謝金	2,064,760円	海外招待作家 200,000 7 1,400,000
		国内招待作家 100,000 1 100,000
		海外招待作家(クラウドディア) 250,000 1 250,000
		海外招待作家(エレーヌ) 32,000 1 32,000
		通訳(ボランティア) 1,000 16 16,000
		ホームステイ謝金 4,000 14 56,000
		お茶会講師 100,000 1 100,000
		専門委員 20,000 1 20,000
		神楽・太鼓他 90,760
賃金	65,988円	交通整理員プロ 65,988
宿泊費	177,780円	民宿ふくい他 177,780
需用費	1,533,392円	印刷代 707,400
		クラウドディア作品制作材料費 95,127
		消耗品 123,604
		レンタカーシャトルバス借上 528,321
		その他 78,940
委託料	353,952円	アンケート分析等 253,952
		ホームページ委託料 100,000
役務費	42,354円	切手他 42,354
使用料	613,395円	交流センター 585,270
		川根文化センター他 28,125
食糧費	1,131,307円	食事代 569,328
		弁当代 346,959
		交流会 215,020
事務費	94,500円	94,500
計	6,077,428円	

調 査 結 果

1 一般来訪者アンケート調査

【回答者のことについて】

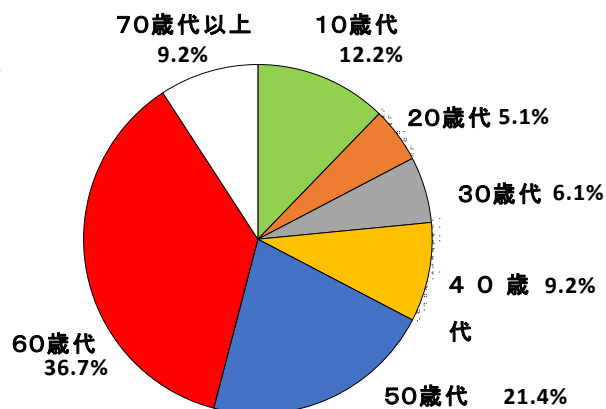
1 年 齢

「60歳代」が36.7%、次いで「50歳代」21.4%と続く。

「50歳代以上」では、約7割（67.3%）を占め、中高年の来訪が多い。

「10歳代」が12.2%と約1割を超えているのは、親や祖父母とともに来ていることが推察される。

	回答数	構成比
10歳代	12	12.2%
20歳代	5	5.1%
30歳代	6	6.1%
40歳代	9	9.2%
50歳代	21	21.4%
60歳代	36	36.7%
70歳代以上	9	9.2%
計	98	100.0%

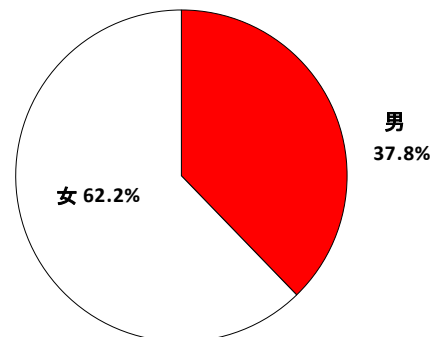


2 性 別

「女」が62.2%、「男」が37.8%と女性の回答が多い。

夫婦で来ている場合、女性の記述する姿が多く見られたことから、このような結果となったと推察される。

	回答数	構成比
男	37	37.8%
女	61	62.2%
計	98	100.0%



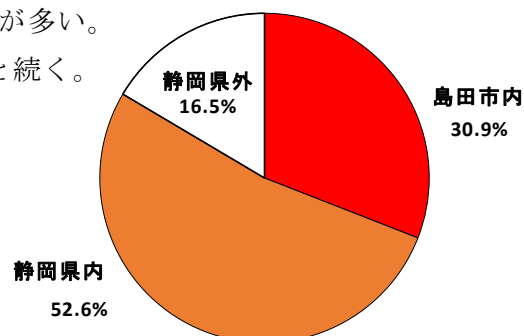
3 居住地

「静岡県内」が52.6%、「島田市内」30.9%と続き、県内で、約8割を超える。

「県内の居住地」では、「静岡市」14人と多く、次いで「焼津市」7人、「藤枝市」6人と続き、島田市近郊の都市が多い。

「県外の居住地」では、「東京都」7人、「愛知県」5人と続く。

	回答数	構成比
島田市内	30	30.9%
静岡県内	51	52.6%
静岡県外	16	16.5%
海外	0	0.0%
無回答	1	-
計	98	100.0%



【記述のみ 都市名と人数】

- ① 静岡県内 静岡市 14、焼津市 7、藤枝市 6、掛川市 4、浜松市 3、富士市 2、菊川市 2、森町
吉田町、牧之原市、磐田市、御殿場市、湖西市
- ② 県外 東京都 7、愛知県 5、神奈川県 2、埼玉県、岐阜県

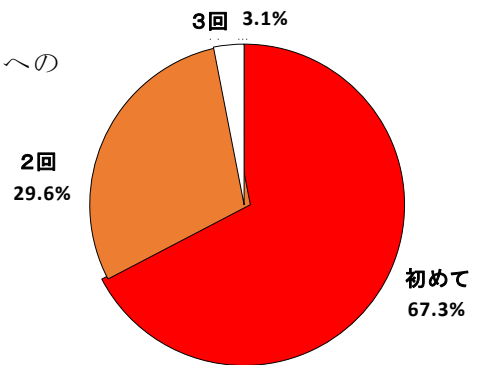
【陶芸フェスについて】

1 来訪回数について

「初めて」が 67.3%、「2 回」29.6%と続く。

「2 回以上」再来訪者が約 3 割（32.7%）とフェス等への興味があることが伺える。

	回答数	構成比
初めて	66	67.3%
2 回	29	29.6%
3 回	3	3.1%
計	98	100.0%

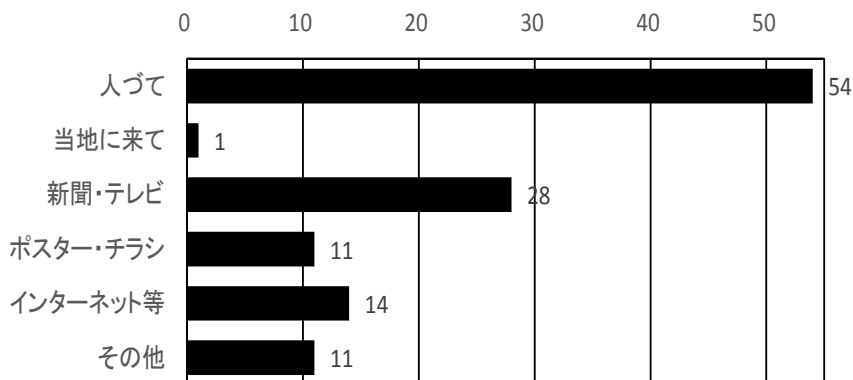


2 陶芸フェスの周知について（複数回答）

「人づて」が 45.4%、「新聞・テレビ」が 23.5%、「インターネット等」11.8%と続く。

「その他」では、ラジオ 2、@エス、外国の陶芸家、前回来ているので、昨年ボランティアで来た、妻が前回ボランティアで来た、両親に連れられてフェスを体験した方など、人づての周知が多く、

「インターネット等」も約 1 割であった。



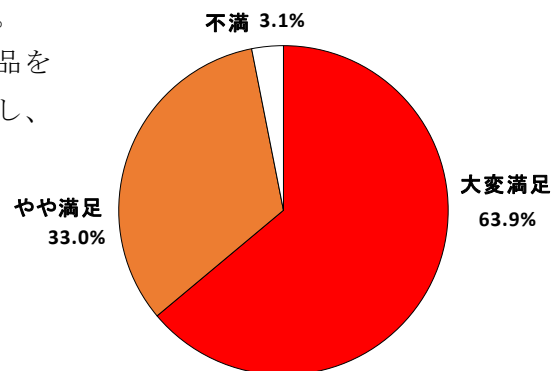
	回答数	構成比
人づて	54	45.4%
当地に来て	1	0.8%
新聞・テレビ	28	23.5%
ポスター・チラシ	11	9.2%
インターネット等	14	11.8%
その他	11	9.2%
計	119	100.0%

3 陶芸フェスの内容について

「大変満足」が63.9%、「やや満足」が33%と来訪者の満足度が極めて高いことが伺える。

この「理由」としては、多くの質の高い作品を見ることができた満足感や地域のおもてなし、食事のおいしさが挙げられた。

	回答数	構成比
大変満足	62	63.9%
やや満足	32	33.0%
不満	3	3.1%
無回答	1	-
計	98	100.0%



【大変満足の理由】

<雰囲気>

地元の手作り感、前回より盛り上がっている、ワークショップ等はL I V E感がある、

<作品>

色々な作品があり楽しめた (7)、

WS・スライドレクチャー・展示が同時に楽しめること、公会堂の海外作家の展示、海外の陶芸作品に触れられた (4)、日本の作家展示 (3)、理解できないものがあつたが心が安らいだ、すごい作品を見られたこと (2)、かわいい作品があつた、1日では見きれない数

<作家>

作家の質が高い (2)、作家から直接購入できる、作家の茶碗で抹茶が飲めたこと、フランス人作家との会話

<地元おもてなし・自然風景>

地元の人の温かさ・おもてなし、風景、自然と季節感にマッチした取組、バスツアー、絵付け体験、食事がおいしい (3)

【まあ、満足の改善等】

<会場環境>

外国人の話が理解しにくくもっと通訳を多く配置、雨上がりで足元が悪い、椅子の数が不足、各会場の距離間が長い、地元の店舗が会場にあると良い、湯茶の販売が無い、作品をゆっくり見たい (対面販売は苦手)

<シャトルバスの運行>

シャトルバスのつながが悪い、シャトルバスの本数を増やしてほしい、

<情報提供等>

高齢者はインターネットを見ない、事前PRが下手

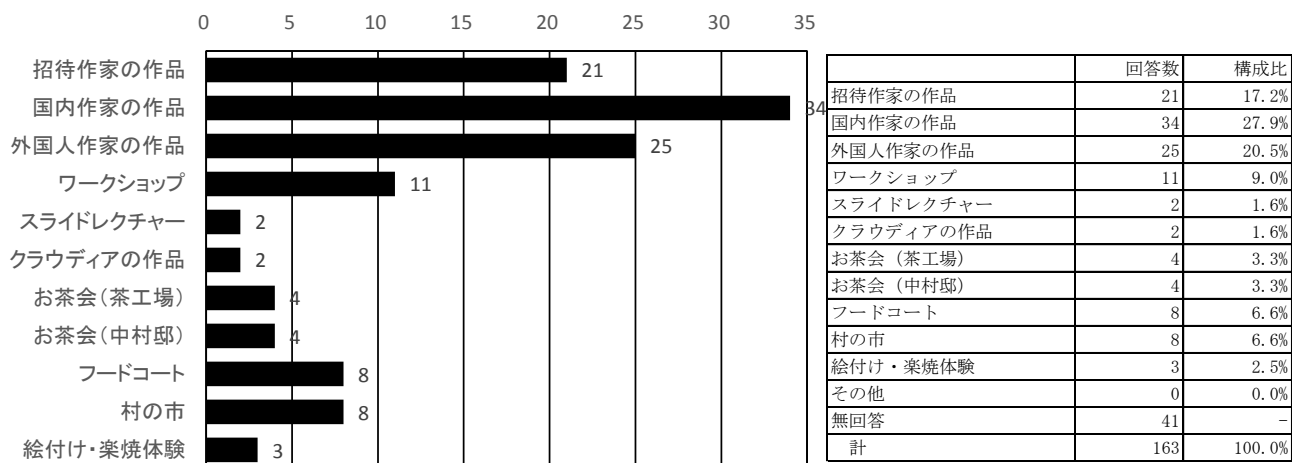
【不満の理由】

国内作家の展示が少なかった

4 陶芸フェスで最も印象に残ったものについて（複数回答）

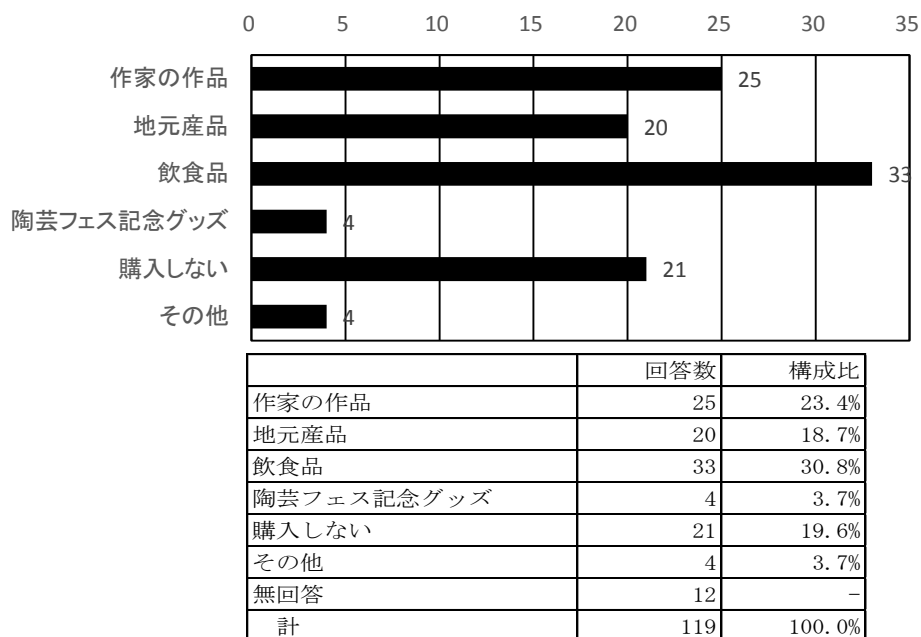
「国内作家の作品」が 27.9%、「外国人作家の作品」が 20.5%、「招待作家の作品」17.2%と続き、陶芸作品の印象が約 6 割以上と高かった。

「お茶会」「フードコート、村の市」の体験や食への印象も残った。



5 陶芸フェスで購入した内容について（複数回答）

「飲食品」が 30.8%、「作家の作品」23.4%、「購入しない」19.6%、「地元産品」18.7%と続く。



【今後、地域との関わり】

6 陶芸フェス以外の笹間への再来訪について

「訪れてみたい」69.2%、「1泊してみたい」15.4%、「ショートステイ（3～5日）してみたい」8.8%と続く。

また、「移住・定住してみたい」3.3%あった。

陶芸以外での笹間への再来訪の関心が伺える。

「来たいと思わない」は、見学の地元、笹間近郊居住の方であった。

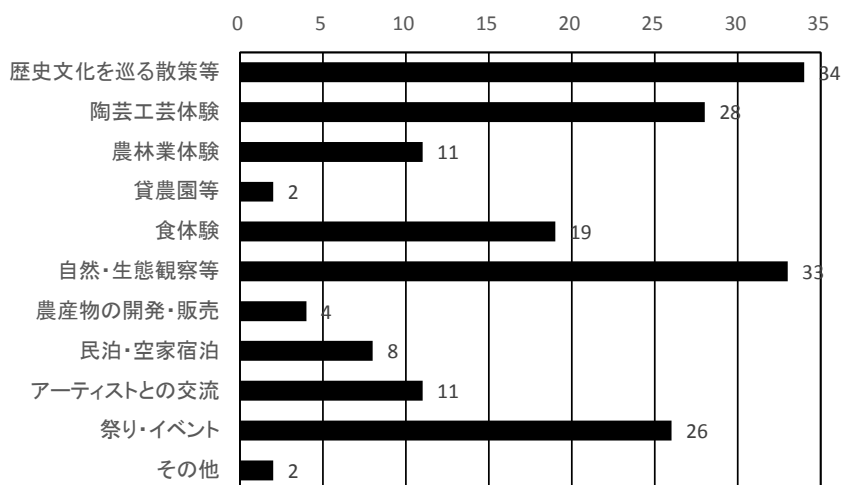


	回答数	構成比
訪れてみたい	63	69.2%
1泊してみたい	14	15.4%
ショートステイしてみたい	8	8.8%
移住・定住してみたい	3	3.3%
来たいと思わない	3	3.3%
無回答	7	-
計	98	100.0%

7 地域での参加内容について（複数回答）

「歴史・文化を巡る散策等」が19.1%、「自然・生態観察等」が18.5%、「陶芸・工芸体験」15.7%、「祭り・イベント」14.6%と続く。

笹間の社会・自然環境の良さに触れたい人も多くいることが見られた。



	回答数	構成比
歴史文化を巡る散策等	34	19.1%
陶芸工芸体験	28	15.7%
農林業体験	11	6.2%
貸農園等	2	1.1%
食体験	19	10.7%
自然・生態観察等	33	18.5%
農産物の開発・販売	4	2.2%
民泊・空家宿泊	8	4.5%
アーティストとの交流	11	6.2%
祭り・イベント	26	14.6%
その他	2	1.1%
無回答	10	-
計	188	100.0%

8 その他 ご意見やご要望等をお聞かせください

【感想】

- ・楽しかった (4)
- ・天気も良くよい一日だった (2)
- ・また来たい (2)
- ・事前に知っていれば、もっと楽しめた。
- ・勉強になった。
- ・廃校の名残がとても良く、歴史の匂いを心から感じた。
- ・自然の中を歩くだけでも十分楽しめた。
- ・町全体の雰囲気がとても素敵だった。山里の小さな町でも、陶芸を通じて世界とつながれることの素晴らしさを実感した。今後も継続してください。
- ・道路幅が狭く、心配だった。
- ・山間地域での野望素晴らしいと思う。

【地元のおもてなし等】

- ・地元の人たちのおもてなしに感謝 (2)
- ・地元の方と話ができて良かった。
- ・地元の皆さんのご協力、ボランティアの力はすごいと思う。

【自然環境の良さ等】

- ・笹間までは目的が無いと来ないが、国際色豊かな催しはインパクトがあり、村全体が生き生きしている。
- ・紅葉、川の流れと心に残る1日だった。フランス作家の湯飲みを1つ購入し、作家との写真もとり、次回も来たいと思う。地元のおもてなしの心にも感謝。
- ・スタンプラリーをしながらフェスを楽しんだ。スタンプの所に置いてあった小枝アート人形がとてもかわいくて良かった。
- ・笹間の暮らしの様子も散策して、リラックスできた。

【飲食物がおいしかった】

- ・食べ物がおいしかった (2)
- ・お茶、紅茶がおいしかった。(2)

【今後の改善】

＜チケット料金＞

- ・前売り券を購入したが手数料がかかり、当日券より高くなった。

＜会場環境＞

- ・メイン会場の盛り上げに必要な音楽がフードコートまで聞こえなかった。
- ・2年前より、展示物が少ないように感じた。

<情報提供>

- ・会場までの道案内が無く、不安だった。
- ・フェス内容の時間情報を流してほしい。時間が無く全て見きれなかった。
- ・ポスター、チラシも近く（静岡市）に置いてほしい。

<物販飲食>

- ・交流センターに売店を出してほしい。
- ・フードコートで飲み物が入手できなかったのも、簡易なお茶や水がほしかった。

<期間・時間>

- ・シャトルバスの間隔があると、温泉にも入れるのになあ。
- ・展示の期間を1週間程度開催してほしい。
- ・近くのイベントとかぶらないようにしてほしい。

2 出展国内作家集計結果

【回収】

最終日の回収で、作家自身の展示片づけや宿泊施設内に置き忘れ等もあったが、回収率 55% となった。

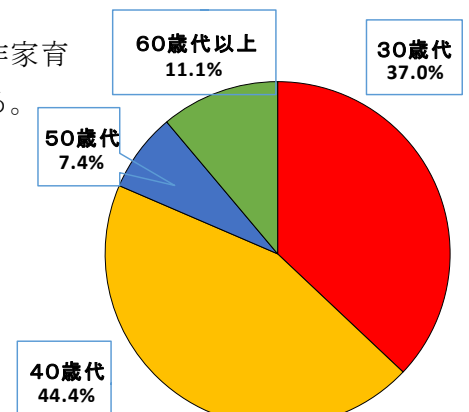
●出展国内作家数 49人 回答数27 回答率 55%

【回答者について】

1 年 齢

30～40歳代の若手が多い結果となっているが、若手作家育成の目的もあり、作家選定時に若手を選考した結果でもある。

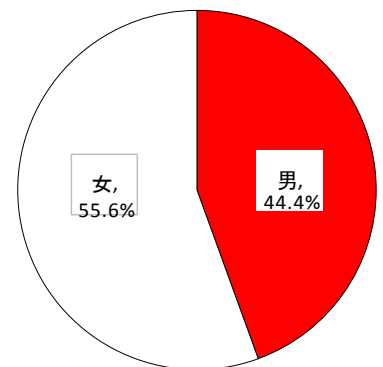
	回答数	構成比
10歳代	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	10	37.0%
40歳代	12	44.4%
50歳代	2	7.4%
60歳代以上	3	11.1%
計	27	100.0%



2 性 別

若干女性の回答者が多く、男女の割合 4 対 6 である。

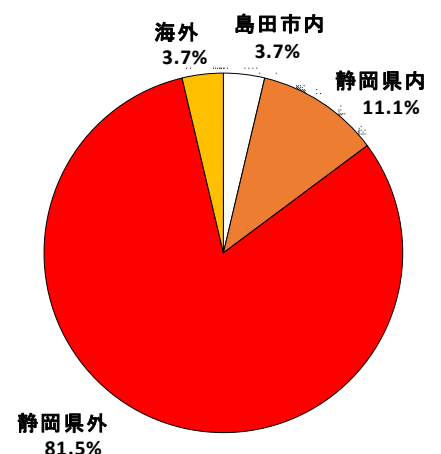
	回答数	構成比
男	12	44.4%
女	15	55.6%
計	27	100.0%



3 居住地

居住地は静岡県外が約 82%と大半を占めている。
特に、県外では愛知県に居住する作家が多い。

	回答数	構成比
島田市内	1	3.7%
静岡県内	3	11.1%
静岡県外	22	81.5%
海外	1	3.7%
計	27	100.0%



【記述のみ掲載】

県内 浜松市、藤枝市

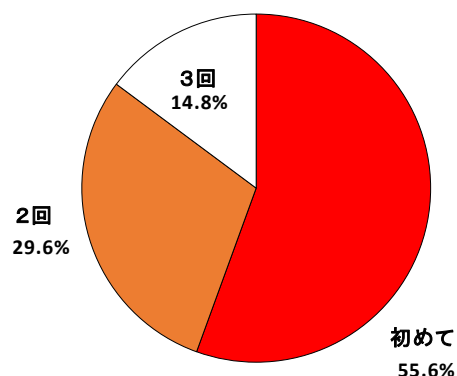
県外 愛知県 6、岐阜県 3、三重県 2、大阪府 2、京都府 2、東京都 2、神奈川県、広島県、茨城県、鹿児島県

★今後（居住地）：静岡県内、とりわけ島田市内の作家割合を高めていくために、長期視点にたった、子ども育成や展示機会を増やすなどの工夫が必要である。

4 出展回数

出展が「初めて」約 56%であった。これも、選考時に多くの国内作家を選考した結果である。

	回答数	構成比
初めて	15	55.6%
2回	8	29.6%
3回	4	14.8%
無回答	0	-
計	27	100.0%



【今回の陶芸フェスについて】

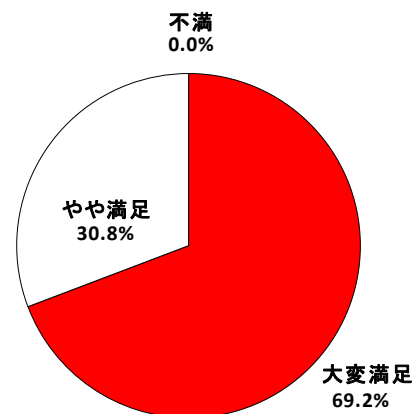
1 参加満足度

「大変満足」が 69%、「やや満足」が約 31%であった。

「不満」はなかった。

「大変満足の理由」は、ワークショップ等により勉強になったこと、交流地元の心遣い等であった。

	回答数	構成比
大変満足	18	69.2%
やや満足	8	30.8%
不満	0	0.0%
無回答	1	-
計	27	100.0%



【大変満足の理由】

- ・ワークショップ 3、WS は勉強になる、海外作家等の作品が見ることができたこと 2
- ・地元や海外の人との交流 3、WS や他作家との交流 2、
- ・地元の人の声掛け、地元の心遣い、前夜祭の料理
- ・売り上げもあった

【やや満足の改善点】

<料金>

- ・WS を安くしてほしい

<手伝いの参加>

- ・地元の方と一緒にテント設営などお手伝いしたかった

<連絡>

- ・必要なことの連絡はなるべく早めにしてほしい、

<プログラム内容>

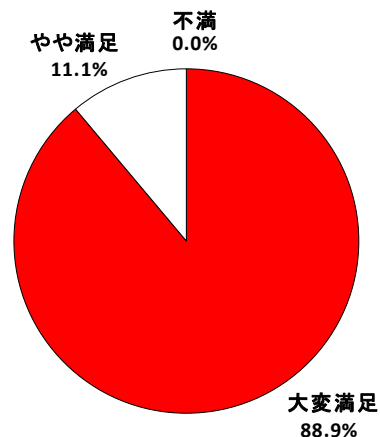
- ・ws とスライドレクチャーが重なっていること
- ・ブース販売やWS 見学をもっと多く

2 地域のおもてなしや交流について

「大変満足」が約 89%、「やや満足」が約 11%で、不満はなかった。

理由としては、地元のもてなしや料理のうまさであった。

	回答数	構成比
大変満足	24	88.9%
やや満足	3	11.1%
不満	0	0.0%
計	27	100.0%



【大変満足の理由】

- ・ 笹間の人が大変親切 2、温かく 2、おばちゃんたちがやさしい 2、地域の方が一生懸命に活動し、気持ちよく過ごせた、気軽に話してくれたこと、仲良くしていただいた 2、地元のもてなし、笑顔で気持ちいい、地域全体が盛り上がっている
- ・ 料理がおいしい 4、前夜祭の料理がおいしかった

【やや満足の改善点】

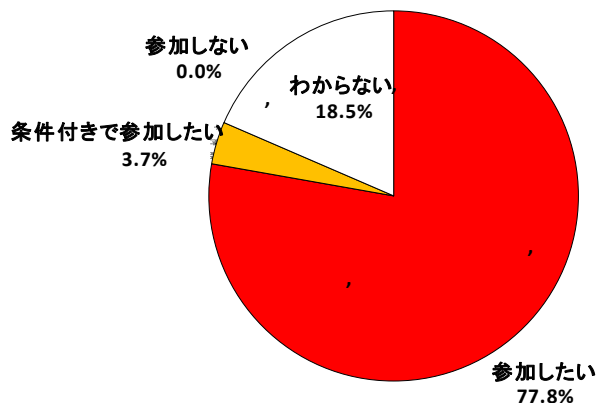
- ・ もっと交流の時間が欲しい

【今後の陶芸フェスについて】

1 今後の参加について

「参加したい」、「条件付き」含めが約 83%のほとんどが参加を希望している。

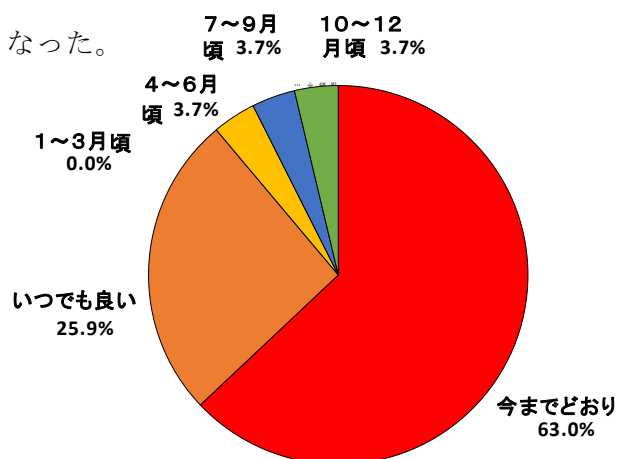
	回答数	構成比
参加したい	21	77.8%
条件付きで参加したい	1	3.7%
参加しない	0	0.0%
わからない	5	18.5%
計	27	100.0%



2 開催時期について

「今までどおり」が63%、「いつでも」が約26%となった。

	回答数	構成比
今までどおり	17	63.0%
いつでも良い	7	25.9%
1～3月頃	0	0.0%
4～6月頃	1	3.7%
7～9月頃	1	3.7%
10～12月頃	1	3.7%
計	27	100.0%

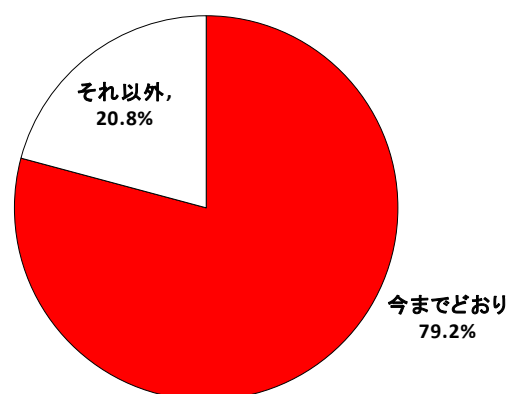


3 開催期間について

「今までどおり」が約79%、「それ以外」が約21%となった。

「それ以外」では、開催期間2日、3日、2～3日、4日、7日間の回答であった。

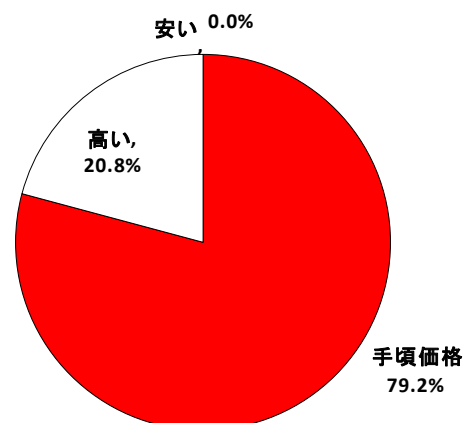
	回答数	構成比
今までどおり	19	79.2%
それ以外	5	20.8%
無回答	3	-
計	27	100.0%



4 参加料について

「手頃価格」が約79%、「高い」が約21%であった。

	回答数	構成比
手頃価格	19	79.2%
高い	5	20.8%
安い	0	0.0%
無回答	3	-
計	27	100.0%



5 上記以外で、参加する環境について

【交通・情報インフラ整備】

- ・交通が便利なところだと人が来やすい。インフラ整備が必要。
- ・交通などの連絡、緊急時、当日の連絡先の情報を。
- ・W i f i が強力だと良い。

【来訪者との交流機会増やす】

- ・来訪者との交流・販売が必要。WSを午前中に、午後は販売と時間区分する。
- ・一般来訪者も泊まれる施設があると良い。

【プライバシー確保】

- ・2段ベットは大人にはきつい。8人ではプライバシーが保てない。

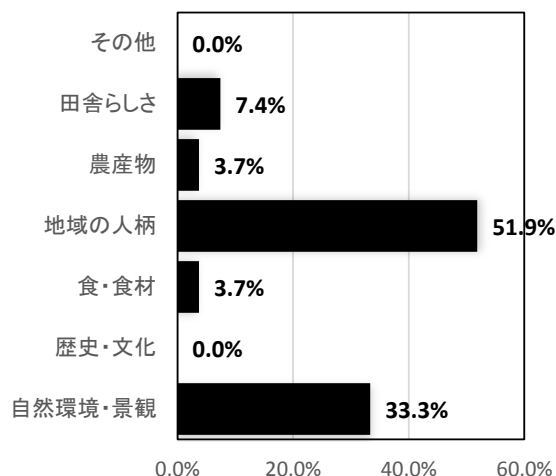
【地域との関わり】

1 笹間の良さ・強みについて

「地域の人柄」が約 52%と全体の半分を占め、自然環境・「景観」が約 33%となっている。

「食・食材」、「農産物」、「田舎らしさ」には体験したが、「歴史・文化」には、時間がないこともあり、あまり接していないことが伺える。

	回答数	構成比
自然環境・景観	9	33.3%
歴史・文化	0	0.0%
食・食材	1	3.7%
地域の人柄	14	51.9%
農産物	1	3.7%
田舎らしさ	2	7.4%
その他	0	0.0%
計	27	100.0%



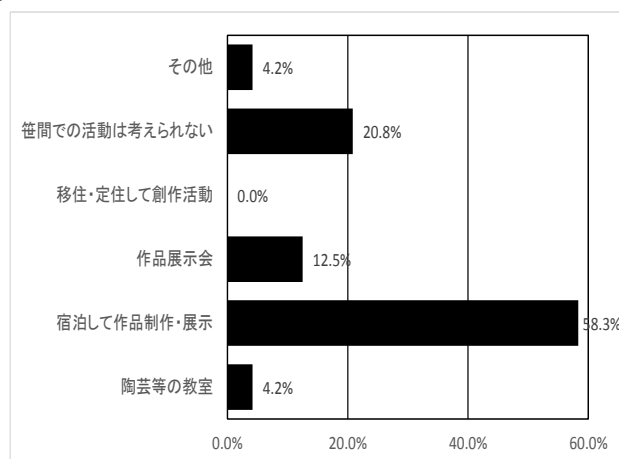
2 笹間で創作等の活動について

「宿泊して作品制作・展示」が約 58%と半数を超え、「作品展示会」が約 13%と続く。

「笹間での活動を望まない」が約 21%であった。

「その他」の意見として、作家が意味を見出したら活動するという内容であった。

	回答数	構成比
陶芸等の教室	1	4.2%
宿泊して作品制作・展示	14	58.3%
作品展示会	3	12.5%
移住・定住して創作活動	0	0.0%
笹間での活動は考えられない	5	20.8%
その他	1	4.2%
無回答	3	-
計	27	100.0%



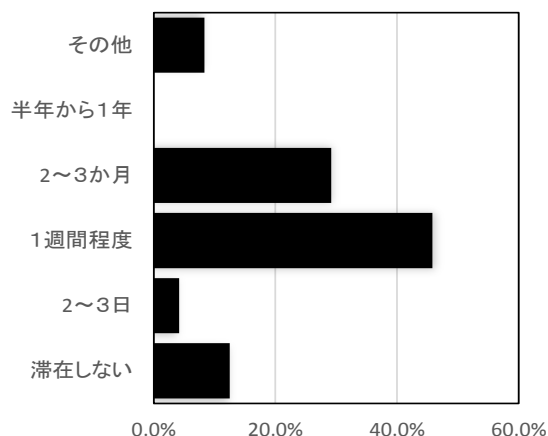
3 創作活動する場合の滞在期間

「1週間程度」が約 46%、「2～3か月」が約 29%と続く。

「滞在しない」が約 13%であった。

「その他」の意見として、1か月間が2名あった。

	回答数	構成比
滞在しない	3	12.5%
2～3日	1	4.2%
1週間程度	11	45.8%
2～3か月	7	29.2%
半年から1年	0	0.0%
その他	2	8.3%
無回答	3	-
計	27	100.0%



【その他の意見・要望等】

① 全体の感想

- ・楽しい4日間で、様々な人と会えて勉強になった。語学も達者になりたい。
- ・よい経験になった。
- ・2回目だが次回も楽しみにしている。
- ・多くの作品に出会えてよかった。

② 改善要望等

- ・レクチャとワークショップの時間が重なる(2)
- ・開催初日の懇親会は、各作品について紹介してほしい。
- ・次回、テーマを決めた作品作りを行い、評価することも勉強になると思いますが。
- ・海外からも持参しやすいように小作品の参加。
- ・来訪者も宿泊する施設が笹間にあると良い。
- ・招待作家のWS内容が似ているので、幅広い内容を望む。1 去年のシンポジュームの形態でも良かった

③ 笹間地区、実行員会等への感想

- ・村あげての歓迎に感謝します。
- ・地域の方々がとてもあたたかく、とても幸せな3日間でした。
- ・地域の方の温かい声掛けは、とてもうれしいことです。
- ・スタッフの方々にお世話になった。
- ・実行員の皆様お疲れ様でした。

3 地元関係者調査結果

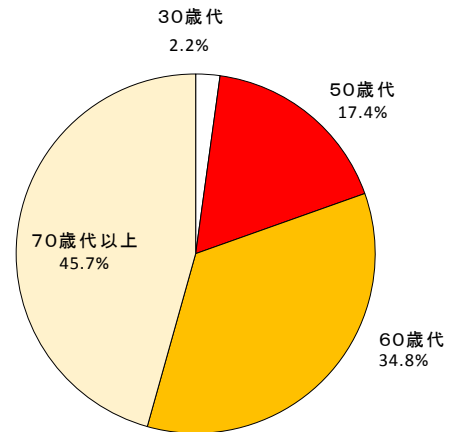
地元の回答者は46名であった。

【回答者について】

1 年 齢

年代は70歳代が約46%、60歳代が約35%と60歳代以上で約8割を示す。

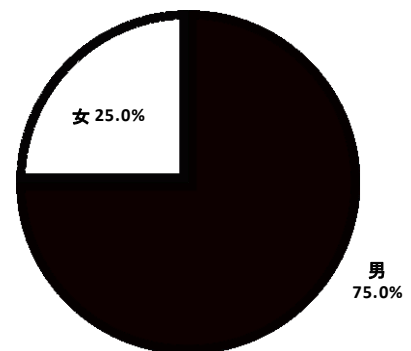
	回答数	構成比
10歳代	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	1	2.2%
40歳代	0	0.0%
50歳代	8	17.4%
60歳代	16	34.8%
70歳代以上	21	45.7%
無回答	0	-
計	46	100.0%



2 性 別

「男」が約74%、「女」約26%で、男性回答が多い。

	回答数	構成比
男	24	75.0%
女	8	25.0%
無回答	14	-
計	46	100.0%

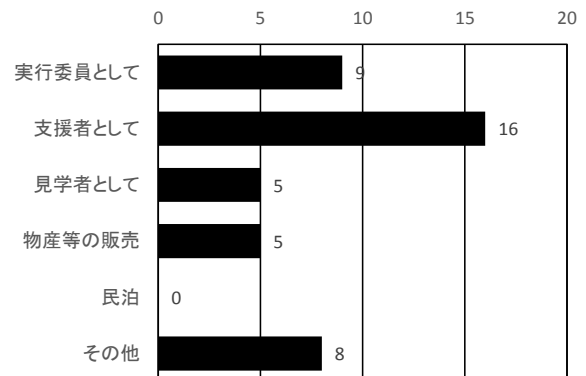


【陶芸フェスの感想などについて】

1 参加の形態について

「支援者」が約37%、次いで「実行委員」が21%と続く。
「その他」は「隣保班長（組長）」、「食事の提供」の記述それぞれ2名あった。

	回答数	構成比
実行委員として	9	20.9%
支援者として	16	37.2%
見学者として	5	11.6%
物産等の販売	5	11.6%
民泊	0	0.0%
その他	8	18.6%
無回答	3	-
計	46	100.0%

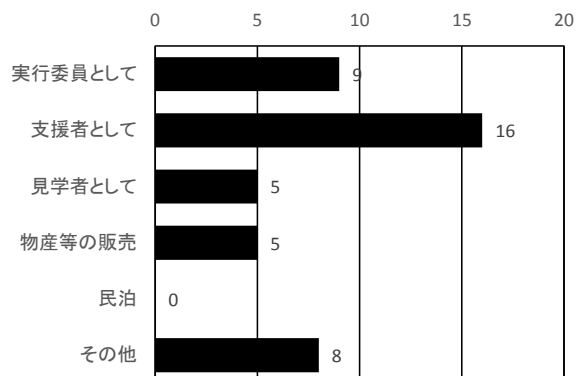


2 会話や交流について（複数回答）

「見学者」が約41%、「国内陶芸作家」が約27%、
次いで「外国人」19%と続く。

「その他」の意見は「県外の友」であった。

	回答数	構成比
しなかった	5	6.2%
外国人	15	18.5%
国内陶芸作家	21	25.9%
見学者	33	40.7%
市や県の人	3	3.7%
その他	4	4.9%
無回答	1	-
計	82	100.0%

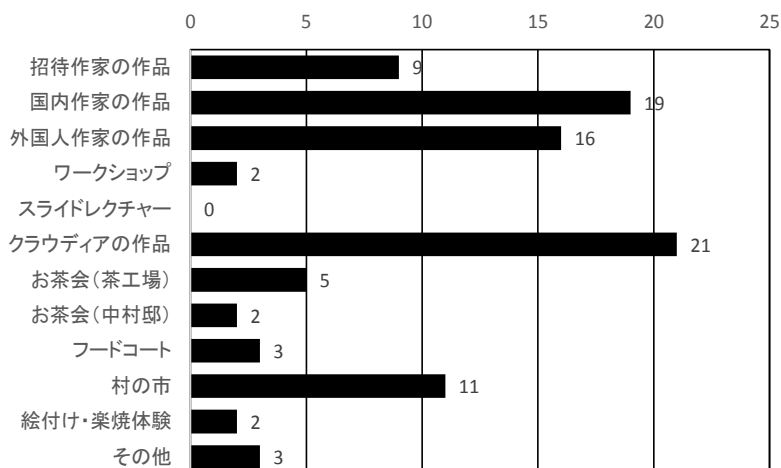


3 最も印象に残ったもの（複数回答）

「クラウディアの作品」約23%、「国内作家の作品」約20%、
「外国人作家の作品」約17%、「村の市」約12%と続く。

「その他」の回答は、旧中学校の展示、地区散策、駐車場係で見られなかった。

	回答数	構成比
招待作家の作品	9	9.7%
国内作家の作品	19	20.4%
外国人作家の作品	16	17.2%
ワークショップ	2	2.2%
スライドレクチャー	0	0.0%
クラウディアの作品	21	22.6%
お茶会（茶工場）	5	5.4%
お茶会（中村邸）	2	2.2%
フードコート	3	3.2%
村の市	11	11.8%
絵付け・楽焼体験	2	2.2%
その他	3	3.2%
無回答	3	-
計	96	100.0%

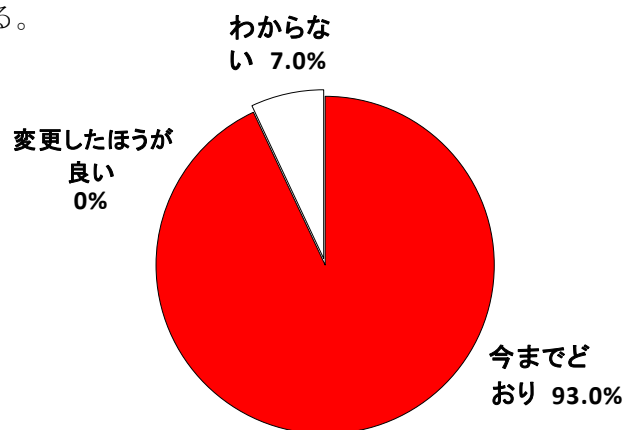


【陶芸フェスの今後などについて】

4 開催時期について

「今までどおり」が約93%で大半を占める。

	回答数	構成比
今までどおり	40	93.0%
変更したほうが良い	0	0.0%
わからない	3	7.0%
無回答	3	-
計	46	100.0%



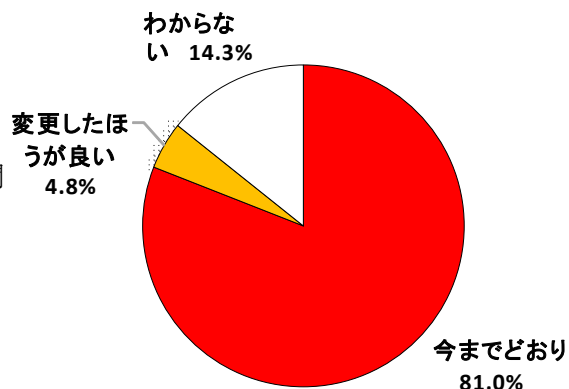
5 開催期間について

「今までどおり」が約81%で大半を占める。

時期に比べ、「わからない」割合が増えている。

「変更したほうが良い」では3回やったので、7日間と変更しても良い。笹間で2.5日～3日。

	回答数	構成比
今までどおり	34	81.0%
変更したほうが良い	2	4.8%
わからない	6	14.3%
無回答	4	-
計	46	100.0%

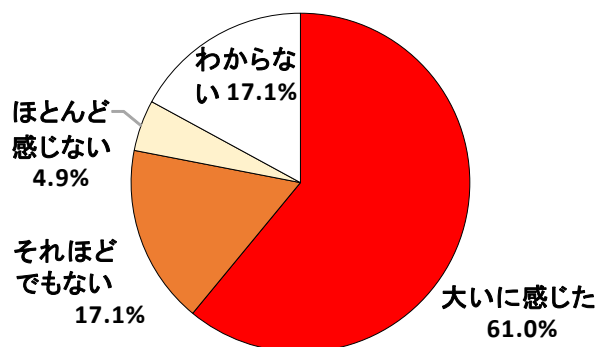


6 陶芸フェスの地域への効果について

「大いに感じた」が61%、「それほどでもない」と

「わからない」がそれぞれ約17%と続く。

	回答数	構成比
大いに感じた	25	61.0%
それほどでもない	7	17.1%
ほとんど感じない	2	4.9%
わからない	7	17.1%
無回答	5	-
計	46	100.0%

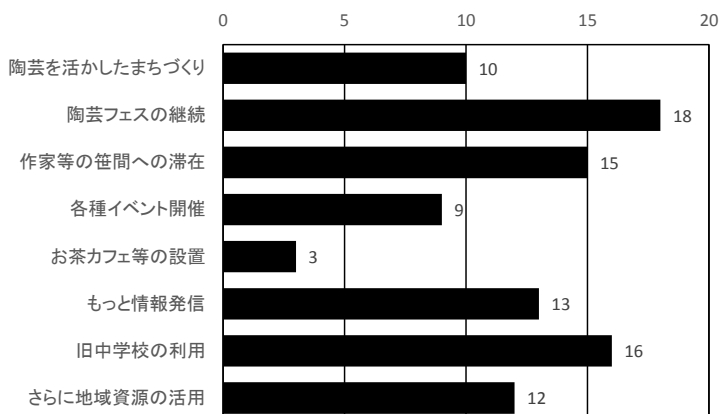


7 今後笹間地域として、フェスティバルを活かす方法について（複数回答）

「フェスティバルの継続的開催」が約19%、「作家等の笹間への滞在」と「旧中学校の利用」がそれぞれ約16%と続く。

その他の意見として、陶芸フェスは隔年だが、その間でも1～2人の作家で開催したらどうか。

	回答数	構成比
陶芸を活かしたまちづくり	10	10.4%
陶芸フェスの継続	18	18.8%
作家等の笹間への滞在	15	15.6%
各種イベント開催	9	9.4%
お茶カフェ等の設置	3	3.1%
もっと情報発信	13	13.5%
旧中学校の利用	16	16.7%
さらに地域資源の活用	12	12.5%
その他	0	0.0%
無回答	4	-
計	100	100.0%

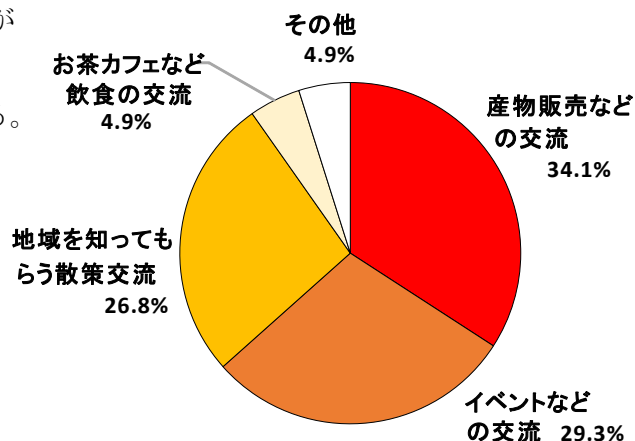


8 来訪者との交流をもっと活発にしていくことについて

「産物販売などの交流」が約 34%、「イベントなどの交流」が約 29%、「地域を知ってもらう散策交流」が約 27%と続く。

「その他」については、「作品をつくらせる」である。

	回答数	構成比
産物販売などの交流	14	34.1%
イベントなどの交流	12	29.3%
地域を知ってもらう散策交流	11	26.8%
お茶カフェなど飲食の交流	2	4.9%
その他	2	4.9%
無回答	5	-
計	46	100.0%



【その他】 地域活性化へのご意見やご要望等をお聞かせください

【陶芸フェスの継続】

- ・ 2年に一度の大イベントは、活気がでて、色々な人との交流ができて最高であるので、継続をしてほしい、地元も協力していく。
- ・ 外国語が話せなかったが、身振り、手振りで交流できた。外国人の笑顔がとてもよかった。継続を。
- ・ 陶芸を活かしたまちづくり
- ・ 和井中通りがこんなにもにぎわうなんて、夢の様でした。是非とも継続していただきたい。
- ・ 陶芸フェスの経緯を聞かれて説明したが、くれば関係者もいることなので、知り合いの方にチラシの配布など普及活動をしていくことも必要。

【実行委員会の役割分担と情報発信】

- ・ フェスティバルでの活性化には、実行委員会による情報発信や意見交換、役割分担を行い、地域全体が盛り上がる必要がある。

【地域めぐりなど】

- ・ 天候にも恵まれ、交流センター以外の旧中学校、公民館、茶工場、大ケヤキの作品など地域を散策できたことが素晴らしかった。
- ・ コンパクトな（場所）にして、大勢の人がごった返すようにしたイベントを行っては。（地域を知ってもらうことも大切だが）

【食事のできる場所】

- ・ 来訪者の意見、グラウンドで食事ができる場所がほしい。

【作家活動を見せる等の活動】

- ・ 旧中学校を活用し、イベント期間に作品を作っているところを見せる。
- ・ 短期間の滞在により、第2の作業所としての空き家活用を。

【後継者育成】

- ・館長が75歳になるまでに、後継者を見つけ、教育してほしい。
- ・今後、若者の参加をいかに増やすか考えるとともに、後継者を作る必要がある。

【笹間関係者の参加機会づくり】

- ・笹間出身者への呼びかけ等により、笹間に来る機会を作る。

【地域活性化に向けた取組の方法】

- ・誰かがやらないと道は拓けない。
- ・無謀の積み重ねも道になる。
- ・国際陶芸フェスティバルとは別な常設的な、例えば「うらっち会議」を設け、旧中学校の利用や今後のフェスティバルと地域の活性化の方策等を検討していく。
- ・交流センターの集客を増やすために、散策ハイキング（2～3 時間コース 2 つ、5～6 時間コース 1 つ）、体験コーナー（そば、ピザ、竹とんぼ、こんにゃく作り、竹鉄砲づくり）
- ・意識化と協力のために、笹間の全てが自分のマイ・カップを作る

第3回国際陶芸フェスティバル in ささまの記録 (平成27年11月20日～22日)



20日オープニングイベント
川根小児童の「おはやし」
(チャリム21)



道川省三さんによる招待作家の紹介
(チャリム21)



オープニングイベント
お茶会 (チャリム21)



前夜祭 バイキングで交流
(交流センター)



前夜祭 笹間神楽披露
(交流センター)



21日・22日招待作家作品展示
(入屋宅)



招待作家作品展示のお宅で



海外セレクション作家作品展示
(石上公民館)



海外セクション作家展示
(石上公民館)



国内セクション作家展示
(交流センター)



旧中学校での展示



旧中学校での展示



招待作家ワークショップ
(交流センター)



招待作家スライドレクチャー
(交流センター)



クラウディア（アメリカ）さん
3週間滞在して作品づくり
(交流センター)



マルチェロ（イタリア）さん
レジデンスの試行（3週間滞在）
(北島宅)



裏千家の方々によるお茶会
(中村宅)



小堀遠州、小堀芙由子さんによるお茶会
(製茶工場)



地域の人達による「村の市」
(石上公民館)



フードコート
(交流センター・運動場)



里山ハイキングに32人参加



楽焼体験
(交流センター)



にぎわいもどった
「和井中ぎんざ」



駐車場も各地に設置
(旧中学校グランド)

国際陶芸フェスをPR

島田の実行委が本社来訪



国際陶芸フェスティバルをPRする実行委メンバー＝28日午前、静岡市駿河区の静岡新聞放送会館

島田市川根町笹間地区を中心に11月20、22日に開かれる「第3回国際陶芸フェスティバルinささま」の実行委員会メンバーらが28日、静岡市駿河区の静岡新聞放送会館を訪れ、イベントをPRした。

旧笹間小を改築した宿泊体験施設「島田市山村都市交流センターささま」を中心に空き家や旧笹間中、公民館など地域のあちこちに、国内外の陶芸作品を展示する。笹間地区の自然そのものも「芸術作品」として楽しんでもらう。世界トップクラスの陶芸家が制作実演するワークショップも予定している。

会長を務める北島享さん(74)＝島田市＝は「新しい切り口で地方や陶芸を世界へ発信していきたい。どのように外国人をもてなすかというモデルにもなると思う」と話した。

自然と陶芸楽しんで

島田市川根町の山村都市交流センターささまを主会場に20日から3日間開かれる「国際陶芸フェスティバル」(同実行委員会主催、静岡新聞社・静岡放送後援)に向けて、地元住民や現地入りした国内外の陶芸家が急ピッチで準備を進めている。関係者は「自然とアートの融合を楽しんでほしい」と来場を呼び掛ける。

島田 20日からフェス



人口5000人に満たない集落に海外の一流作家や陶芸ファンが集う2年に1度の祭典で、2年前は3日間で4千人が来場した。今回のテーマは「うらつち美術館、開演」。「うらつち」は笹間地区の方言で「わたしたち」を意味する。地元住民が、作家の創作活動のサポートや展示のほ

NYの作家 早速創作

国際陶芸フェスティバルに参加する米ニューヨーク在住の作家クラウディア・アルパレスさんは2日に現地入りし、地元住民と交流しながら展示品の創作に取り組んでいる。クラウディアさんは招待作家10人のうちの一人。人間の等身大の窯で、展示作品を焼くクラウディアさん(右)から3人目ら島田市川根町の山村都市交流センターささま

か、絵付けや楽焼、木工などの体験イベント(有料)もある。アートディレクターで陶芸家の道川宣三さんは「笹間地区全体がミュージアム。集落をゆっくり歩き、美しい山や川、茶畑とインターナショナルアートの融合を見て」と話す。作品鑑賞は無料だが、ワークショップやスライド解説は1日券2千円(学生半額)。オープニングイベントは20日午後1時から川根文化センター「チャリム21」で行う。問い合わせは同実行委員会

△電0547(54)0661Vへ。

12ヵ国の作家 山里で陶芸展

国内外で活躍する第一線の陶芸家の作品が並ぶ「第三回国際陶芸フェスティバルinさつま」(中日新聞東海本社後援)が二十一日、島田市川根町笹間上の山村都市交流センターさまを主会場に開かれる。豊かな自然の中、十二カ国約八十人の個性あふれる作品を楽しめる。入場無料。(池田知之)

島田・川根できょうからフェス

27.11.20

笹間地区は島田市中心部から車で一時間ほどの中山間地で、展示会場は廃校となった小中学校の校舎などを活用。住民らが会場設営などに取り組んでいる。十九日は形も色も個性的な湯飲みなどの展示準備をした。

二十日は川根文化センターチャリム21で開会式典を開く。展示は二十一日、二十二日、出品陶芸家によるワークショップ

「お茶どころでの陶芸展を楽しんでもらえれんがの窯を作り、女性像を焼いて、絵の具で色を付ける作業をしている。無料シャトルバスが運行する。問い合わせは、実行委」電0547-0661へ。



素焼きの作品に絵の具で色を付けるアルパレスさん=いずれも島田市川根町笹間上で



湯飲みの展示作業が続けられている会場

里山展示に陶芸家70人以上

島田であすから国際フェス



2日に到着した米国の陶芸家クラウド・アルバレスさんと夫。開幕前から作品を焼成する窯を組み、制作してきた島田市川根町笹間上、国際陶芸フェスティバル実行委員会提供

山あいにある島田市川根町笹間上の体験宿泊施設「島田市山村都市交流センターささま」周辺で20、22日、国際陶芸フェスティバルがある。2年に1度の開催で、3回目となる今回は国内外の陶芸家70人以上が作品を披露。回を重ねるごとに訪問者が増えている。企画のアートディレクターは、愛知県瀬戸市を拠点に国内外でも作品を発表する陶芸家道川省三さん(62)。

笹間を訪れた道川さんと、島田市山村都市交流センターささま館長で実行委員長の北島享さん(74)が約10年

27.11.19

早咲きの梅 今秋も開花

「日本一の早咲き」をうたう熱海梅園(熱海市)の梅が1輪開花した。16日、熱海市が確認し、発表した。開花は昨年より2日遅いという。開花場所は、園内にある中山晋平記念館の入り口付近にある冬至梅。16日に来園した市民が見つけ、市都市整備課の職員が確認した。梅園では14日から「もみじまつり」が始まったばかり。色づく秋と気が早い春の熱海の光景が楽しめる。



開花した早咲きの白梅。17日午前、熱海梅園

前に出会ったのが、開催のきっかけになった。今回は日米独仏など7カ国10人の招待作家に加えて、海外16人、国内50人が集結。「里山が丸ごと、うちらっち(私たち)のミュージアム」を合言葉に、旧笹間中学校や製茶工場、空き家、野外での展示も試みる。初めて開催した11年には約1500人が訪れ、13年には約4千人に膨らんだ。

現在、約180世帯450人が住む笹間地区。80代の住民が「笹間にこんなに人が来たのは、生まれて初めてだ」と話すほどの集客力を持つようになった。道川さんによると、参加した海外作家が笹間での体験をメディアで発信し、国際的な知名度が上がっているという。道川さんは「作る側と見る側の体験の密度を大事にしてきたからでは

ないか」と話す。北島さんは「陶芸は茶の湯や燃料の木材など、笹間の茶業や林業とも縁が深い。この土地ならではの体験ができるはず」とフェスティバルの今後に期待を込める。20日は午後1時から島田市川根町家山の市川根文化センター・チャリム21で開幕式と交流茶会、午後6時から市山村都市交流センタ

ーささまで前夜祭(要予約)がある。21日の展示は午前9時半から午後5時、22日は午後4時まで。一部のワークショップを除き入場は無料だが、1人500円の里山協力金を呼びかける。問い合わせは島田市山村都市交流センターささま(0547・54・0661)へ。(大内悟史)

国際陶芸フェス開幕

手作りカップで茶会

あすまで 作品展など多彩

島田・川根町

国内外の一流陶芸作家が集う「国際陶芸フェス ティーバル in ささま」(同実行委員会主催、静岡新聞社・静岡放送後援)が20日、島田市川根町で開幕した。22日までの3日間、山村都市交流センターささまを主会場に、笹間地区のあちこちで作品展やワークショップ、茶会など多彩な催しを繰り広げる。

マイカップを使って茶を味わう参加者 20日午後、島田市川根文化センター「チャリム21」



2年に1度の祭典で今回が3回目。12カ国から約30人、国内52人の陶芸家が参加する。「うらっち(わたしたち)ち美術館、開演」をテーマに地域住民もボランティアとして準備から関わり、作家や来場者を迎え入れる。

27.11.21

川根文化センター「チャリム21」で開いたオープニングイベントでは茶席が設けられ、作家や地域住民が事前に制作したマイカップで一服を楽しんだ。式典で根岸久実行委員長は「多くの方と交流を深めてほしい」とあいさつした。染谷絹代市長は「良き仲間づくりと地方創生の原動力になるよう願っている」と述べた。期間中、主会場や旧笹間中学校舎、公民館で国内外の作家作品を展示し、招待作家のワークショップやスライド解説、樂焼体験なども行う。民家や製茶工場を開放する茶カフェで地元住民との交流も楽しめる。問い合わせは同実行委員会へ電0547(54)0661Vへ。

山中で国際陶芸展 島田 80人、個性豊かな作品



外国から出品した陶芸家
の作品を見る来場者
島田市川根町笹間上で
27.11.21

心部から車で一時間の
中山間地。展示会場
は、廃校になった校舎
や木造の民家などで、
地区内を巡りながら鑑
賞する。住民らによる
農作物や食品などの売
店もある。

パリから参加した陶
芸家リス・ザンベリさ
ん(左)は「小さなまち
なのに、たくさんの人
が訪れているのに驚い
た」と笑顔で話してい
た。

世界で活躍する第一
線の陶芸家の作品を集
めた第三回国際陶芸フ
ェスティバルinささ
ま(中日新聞東海本社
後援)が島田市川根町
笹間上の山村都市交流
センターささまを主会
場に開かれている。二
十二日まで。

米国やドイツ、フラ

ンズ、ロシア、トル
コ、韓国など十二万国
と、国内の計八十人が
出品。色鮮やかな花器
や、わびさびを感じさ
せる茶わん、ソウやペ
ンギンのオブジェなど
個性豊かな作品が並
び、大勢の人を楽しま
せている。

大井川鉄道笹間渡駅
からシャトルバスが運
行している。問い合わせ
は実行委 電054
7(54) 06611
へ。(池田知之)

仏とトルコの陶芸家、島田のフェス参加



パリ同時多発テロは21日、発生から一週間が過ぎた。島田市で同日始まった「国際陶芸フェスティバルinささま」に参加するため、フランスと、テロ組織「イスラム国」の拠点と国境を接するトルコから来日した2人の陶芸家が揺れる思い、平和への願いを口にした。多くの市民が犠牲になった事件の衝撃は今なお大きい。

身近にテロ 恐怖感同じ

海外12カ国・地域と国内から計80人以上が参加するフェスの開幕を控えた20日夜、同市川根町笹間上の山村都市交流センターささまで開かれた前夜祭。すしやそばなどの日本食を囲み、2人の女性陶芸家が語り合っていた。パリ在住のリース・サンペリさん(57)と、トルコ人のスイディカ・シベル・セヒムさん(51)。平静に見える2人の心にもテロは影を落としていた。セヒムさんが真っ先に不満を漏らした。パリの事件直前、私の国のアンカラでもテロが起きた。なのに世界が伝えるのはパリのことばかり。命に違いがあるとも言った。

テロのない社会を語り合うリース・サンペリさん(左)とスイディカ・シベル・セヒムさん。20日夜、島田市川根町笹間上

平和願い 日本の貢献期待

2011.22
2015.11.22

か。その言葉にサンペリさんは「今回の背景にはアラブ系難民の失業率が高いフランス国内の貧困問題もあったと思う。世界中からの追悼に少し複雑な気持ちもある」と応じた。テロを身近に感じ、恐怖におびえる点は変わらない。パリで開く予定だったサンペリさんの個展はテロで中止になったという。セヒムさんの暮らすトルコには連日、内戦が続く隣国シリアから難民が押し寄せる。世界平和のため、日本が貢献できることは何か。問い掛けに、サンペリさんは即座に答えた。「まずは貧しい人々への教育。彼らが生きる目的を見つけられるよう手を差し伸べて」。傍らでうなずくセヒムさんはもう一つ大切なことがあると訴えた。「日本人は自らの伝統や文化を守り続けてほしい。伝統や文化は人が誇りを持って生きる基盤。誇りある日本人の姿は他の国々に希望を与え、手本になると思う」。

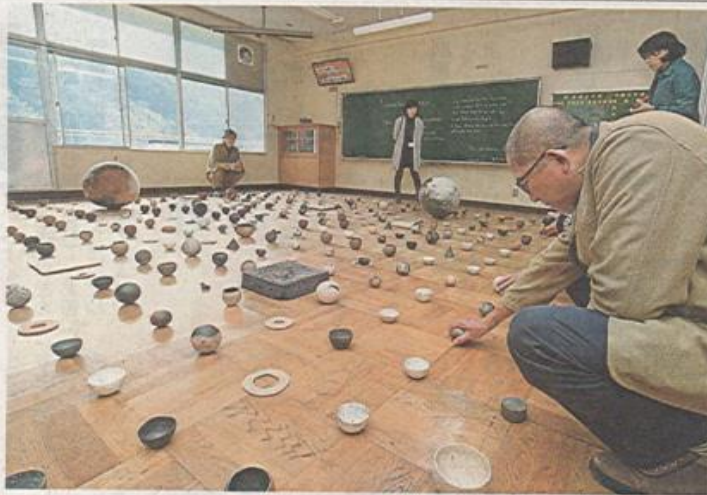
陶芸フェス

創作活動の一端披露

島田・川根町 最終日もにぎわう

27.11.23

島田市川根町の山村都市交流センターさまは、ドイツやオーストリアなどから訪れた3回国際陶芸フェスティバルinささま(静岡新聞社・静岡放送後援)は最終日の22日、国内外の一流陶芸家のワークショップや地場産品を販売する村の市が行われ、大勢の来場者でにぎわった。



9年ぶりに一般開放された旧笹間中校舎に展示された作品＝島田市川根町

ワークショップで招待作家が日ごろ使用している材料や道具を持ち込み、創作活動の

ワークショップで招待作家(左)の説明を聞く来場者＝島田市川根町の山村都市交流センターさま



一端を披露。作品に対するこだわりなどをスライドを用いて解説した。来場者は気軽に作った「茶工場茶会」や、家に質問したり、真剣な表情でメモを取った。地元の志戸呂焼を使った「茶工場茶会」や、楽焼体験コーナーも人

気を集めた。休憩所を兼ねた村の市は、地元素材を生かしたワンコインランチに長い列ができた。夫婦で訪れた菊川市の主婦鈴木敦子さん(52)は「土の芸術作品と、美しい紅葉の景色をゆっくりと堪能できた」と満喫した様子だった。

主催者によると、3日間の来場者は約4500人だった。北島享実行委員会会長は「今回は地域の各施設を開放し、多くの人に笹間地区を見学してもらおうことができた」と総括し、「単発イベントに終わらせず、陶芸文化と国際交流を根付かせたい」と話した。

島田市川根町の笹間地区で20日から22日まで、「第3回国際陶芸フェスティバルinささま」（静岡新聞社・静岡放送後援）が開かれた。期間中に約4500人が来場し、普段静かな集落はにぎわいを見せた。

国内外から約80人の陶芸家が参加し、地区内の公民館や閉校した中学校の校舎を利用して作品を展示した。メイン会場の「山村都市交流センターささま」では、陶芸家らの創作活動を紹介するワークショップが開かれたほか、楽焼や皿の絵付け体験も行われた。

同フェスティバルは陶芸を通じた交流で地区の活性化を目指し、2011年から2年に1回のペースで開かれている。

国内外の陶芸家 島田に集いフェス

27.11.25



藤枝 国際陶芸交流展をPR 27.11.25

藤枝市若王子の市郷土博物館で12月6日まで開かれている「国際陶芸交流展藤枝」（国際陶芸交流協会主催）に出展している国内外の陶芸家8人が24日、市役所を訪れ、北村正平市長に同展をPRした＝写真＝。



訪問したのは、同協会代表で同市出身の前田直紀さんとイタリア、シンガポール、台湾の陶芸家ら。島田市で開かれた「第3回国際陶芸フェスティバル」にも参加している。同館エントランスホールでは五つの国と地域の作家9人の力作10点を展示している。同ホールのみは入場無料。前田さんは「世界を飛び回っている一流の作家ば

かりで最新の技術と深い歴史が作品に詰まっている」と見どころを語った。北村市長は「ぜひプライベートで見に行きたいですね」と話した。

しまだ市民遺産審査委員会の結果について

しまだ市民遺産審査委員会の結果について、次のとおり報告いたします。

応募数 23 件のうち認定候補として下記の 17 件を決定しました。

記

1. 野守の池
2. 清水川ミニ鯉のぼり
3. 王子田会 ジャンボ干支
4. 家山梅園
5. 神座手づくり紙芝居
6. 岸の大日山
7. 田町の祭典用品（若者の幕・大提灯・屏風）
8. 白光神社 鰐口・梵鐘
9. 「増田五郎右衛門」生家跡・井戸・義人碑
10. 堀本古文書館
11. 古横町秋葉神社とお火の舞
12. 島田髷と島田髷まつり
13. 金谷茶娘と茶娘踊り（茶娘道中）
14. 志戸呂焼（静岡県指定郷土工芸品及び志戸呂・横岡で作陶された志戸呂焼に限る）
15. 蓬莱橋
16. すべらず地藏尊
17. 五和音頭

学校給食の異物混入について

学校給食の異物混入について、以下のとおり報告します。

- | | | |
|---|----------------|--|
| 1 | 発生日時 | 平成 28 年 1 月 25 日 (月) 午後 0 時 20 分頃 |
| 2 | 場 所 | 島田市立六合中学校
(平成 27 年 5 月 1 日現在 生徒数 431 人、教職員数 32 人)
校長 中 島 貢 |
| 3 | 内 容 | 六合中学校職員室内で教職員が職員用米飯の盛り付けをしていたところ、異物の混入に気がついた。その後、市教育委員会学校給食課は、米飯納入業者に原因を調査するよう指示した。業者が検査機関に依頼し、1 月 26 日 (火) に炊飯釜の外側のアルミ片であることが判明しました。なお、このアルミ片以外に異物は見つかっておりません。異物調査に時間を要し、1 月 26 日の公表となりました。生徒、職員への健康被害の報告はありません。
アルミ片の大きさ 長さ 3 mm、幅 0.3 mm、厚さ 0.1 mm |
| 4 | 原 因 | 米飯納入業者の工場内で炊飯釜から飯台に移す時に炊飯釜外側のアルミ片が混入したと思われる。 |
| 5 | 今後の対応 | 米飯納入業者は、すでに工場内炊飯器具の一斉点検を実施し、炊飯釜外側の研磨等の対策を講じている。学校給食課は、再発防止に向け、炊飯器具の保守管理及び点検を徹底するよう指導しました。 |
| 6 | 担当学校
給食センター | 南部学校給食センター 当日の食数(2, 659食)
対 象 校 六合小学校、六合東小学校、初倉小学校、初倉南
小学校、湯日小学校、六合中学校、初倉中学校 |
| 7 | 当日の献立 | ご飯、牛乳、黒はんぺんのお茶フライ、小松菜のアーモンド和え、
のっぺい汁 |